

出羽庄内国際村改修工事 (内部改修)

令和 7 年 1 月 31 日



建築改修工事特記仕様書

I 工 事 概 要

1 工 事 名 称

出羽庄内国際村改修工事（内部改修）

2 工 事 場 所

山形県鶴岡市伊勢原町 8 番 3 2 号

3 用途地域等

都市計画区域 ☒ 内 ・ 外 用途地域（第 2 種中高層住居専用地域）
防火地域等（防火地区） ☒ 指定なし ☒ 22 条）
その他の地域 地区（ ）

4 主 要 用 途

文化・交流・公益施設

5 敷 地 面 積

10,715.53㎡

6 建 築 面 積

3,224.76㎡（自転車置場 25.92㎡）

7 延 床 面 積

2,645.00㎡（自転車置場 25.92㎡）

8 工 事 の 概 要

既存室の 1 階常設展示室（1）（2）、テーマ展示室及び
2 階調理実習室を 1 階交流スペース、多目的スペース、
調理スペース、2 階研修室への改修工事

9 別 途 工 事

10 そ の 他

11 特記仕様書の範囲

特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書
・ 解体工事特記仕様書 ☒ 電気設備工事特記仕様書 ☒ 機械設備工事特記仕様書

II 建 築 工 事 仕 様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。) による。
ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（令和4年版）」(以下「標準仕様書」という。) 及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版）」(以下「解体共通仕様書」という。) による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項は、☒印のついたものを適用する。☒印のつかない場合は※印のついたものを適用する。☒印と※印のついた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の＜ ＞、（ ） 及び [] 内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項 目 特 記 事 項

① 一般事項

☒ 工事施工中に予せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。

☒ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。

☒ 施工体系図を現場に掲示すること。
・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。
※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月（東京都建設局編集）による
※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること
※ 図示

② 適用基準等

☒ 建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）

☒ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）

☒ 営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和3年版）

☒ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版）

☒ 公共建築工事積算基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版）

☒ 公共建築工事共通費積算基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和6年版）

☒ 公共建築工事標準単価積算基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和6年版）

☒ 公共建築数量積算基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和6年版）及び

☒ 山形県電子納品取扱要領（山形県県土整備部建設企画課 令和4年版）及び

☒ 山形県建築工事写真撮影要領（山形県県土整備部建築宅課 令和2年版）及び

3. 概成工期

工事工期より 日 前 <1.2.1>

④ 工事実績情報 (CORINS) の登録

※ 適用する（請負積算額が500万円以上の場合） <1.1.4>
受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
・ 適用しない

⑤ 発生材の処理等

発生材の処理 <1.3.12>
・ 引渡しを要するもの（ ）
・ 特別管理産業廃棄物（ ）
受入れ施設名・所在地(km)
・ 現場において再利用を図るもの（ ）
・ 再生資源化を図るもの（ ）

種 類	受入施設名	所在地 (km)	備 考
・ コンクリート塊			
・ アスファルト コンクリート塊			
・ 建設発生木材			
・ コンクリートか ら成る建設資材			
・			

・その他の廃棄物（安定型）

種 類	受入施設名	所在地 (km)	備 考

・その他の廃棄物（管理型）

種 類	受入施設名	所在地 (km)	備 考

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること
PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器 ・ 有（数量は図示） [5.4.1]
・ 無
PCB含有シーリング材 ・ 有（施工範囲は図示） [5.4.1]
・ 無
PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。
アスベストの処理
吹き付けアスベスト除去工事 ・ 有(図示)) ・ 無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト含有保温材除去工事 ・ 有(図示)) ・ 無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト成形板除去工事 ・ 有(図示)) ・ 無
受け入れ施設名・所在地(km)
ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理
吹き付けアスベスト除去工事 ・ 有(図示)) ・ 無
ヒ素又はカドミウムボード
に該当する場合は、指定する場所に処分すること。
＜対象となる石膏ボード＞
小名浜吉野石膏（株） いわき工場 昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
日東石膏ボード（株） 八戸工場 平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
指定する処分場
【名称： 所在地(km) 】
・ 適用する ※ 適用しない <1.3.3>
<1.3.10>
工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
材料の品質等 <1.4.2>
※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
環境への配慮 <1.4.1>
※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
※ ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の建築材料
1) J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
2) 建築基準法施行令第 2 0 条の 7 第 4 項による国土交通大臣認定品
3) 次の表示のある J A S 適合品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.9)<1.7.9>
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。
測定対象物質
※ 44777

 キャド・キャム株式会社 一級建築士事務所 〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-4078 E-mail cao@cad-cam.co.jp 一級建築士事務所 山形県知事登録(1305)第1800号	代表 一級建築士 設計者 加藤 美 秋	製 図 検 閲 令和7年1月31日 鶴岡市建築課 設 計 承 認	担 当 主 査 課 長 訂 正	特 記	工 事 名 出羽庄内国際村改修工事（内部改修）	図 面 名 特記仕様書（1）	図 番 A-001
	担当 設計者				作 図 2025・01・31	縮 尺 N. S	区 分

3
防水改修工事

5. 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）
新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	種類	仕上塗料 種類 使用量	断熱材	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様	※製造所の仕様		
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 改修用 ・有 ・無
・P0D1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2		・製造所の仕様	※製造所の仕様	※3.3.2(9) 種類 ・厚さ	脱気装置 ・有 改修用 ・有 ・無

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
※R種
厚さ（ ）mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
※R種
厚さ（ ）mm以上

絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
（個）

屋根防水
防水層の種類

改修工法	種類	施工箇所
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2	

保護層
・設ける（※図示による）
・設けない

E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

屋上排水溝
※図示による

屋根露出防水（既存）
新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	種類	仕上塗料 種類 使用量	断熱材	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様	※製造所の仕様		
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 改修用 ・有 ・無
・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 改修用 ・有 ・無
・M3AS1 ・M4AS1 ・P0AS1	・AS1-T1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.4.2(3)ウ 種類 ・厚さ	脱気装置 ・有 改修用 ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
※R種
厚さ（ ）mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
※R種
厚さ（ ）mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
※R種
厚さ（ ）mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
（個）

⑥ 合成高分子系ルーフィングシート防水

絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する
・設置しない

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	種類	仕上塗料 種類 使用量	断熱材	備考
・S-F1			・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 改修用 ・有 ・無
・S-F2			・製造所の仕様	※製造所の仕様		
・S-M1			・製造所の仕様	※製造所の仕様		
・S-M2			・製造所の仕様	※製造所の仕様		
・S-F1	・アクリル 剤付下地		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無
・S-F2	・アクリル 剤付下地					
・S-M1			・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無
・S-M2						
・S-F1	・アクリル 剤付下地		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.5.2(3)(イ)(b) 種類 ・厚さ(mm) ・25 ・50	脱気装置 ○有 改修用 ○無
・S-F2	・アクリル 剤付下地					
・S-M1			・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.5.2(3)(イ)(a) 種類 ・厚さ(mm) ○25 ・50	
・S-M2						

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する
・設置しない

屋内防水
防水層の種類

種類	種類	施工箇所	保護層 平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		※7mm以下

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度
目地の種類
※押し目地
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類
厚さ
mm以上

絶縁用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の
片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様
設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
（個）

接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（※図示による）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種類S-F1、SI-F1の場合）
・行う（※図示による）
・行わない

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	種類	仕上塗料 種類 使用量	備考
・PDX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 改修用 ・有 ・無
・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H		○主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ○有 ・無

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※主材料の製造所の仕様
設置数量
※主材料の製造所の仕様
（個）

8. シーリング

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない

シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドプレーカー張り
・適用する
・適用しない
エッジング材張り
・適用する
・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所
・図示による
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による

接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

といその他の材種
・配管用銅管
・硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフトレン
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類）
・
とい受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
形状
※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
形状
※市販品
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
多雪地域
・適用する
・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・図示による
銅管製といの防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による

ルーフトレンの種類及び呼び

種類	呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100	
	・差し込み式 ・50 ・75 ・100	
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100	
	・差し込み式 ・50 ・75 ・100	

たてどい受金物の取付け
※図示による
ルーフトレンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・
種類
・オープン形式（・押出250形
・押出300形
・押出350形）
・板材折曲げ形（・オープン形式
・シール形式）
本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm
・ mm）
表面処理
種類（ ）種
色合等
・標準色（ ）
・特注色（ ）
既存笠木等の撤去
・行う（範囲
・図示による
・
・行わない
下地補修の工法
※図示による
板材折曲げ形の笠木の取付方法
※図示による

9. とい

1. ひび割れ部改修工法

1. ひび割れ部改修工法

2. 欠損部改修工法

⑦ 塗膜防水

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	種類	仕上塗料 種類 使用量	備考
・PX1	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 改修用 ・有 ・無
・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H		○主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ○有 ・無

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※主材料の製造所の仕様
設置数量
※主材料の製造所の仕様
（個）

⑧ 防水保証

1. ひび割れ部改修工法

2. 欠損部改修工法

1. ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	・130	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70	
	0.5以上～1.0未満	・150～250	・130	

注入状況の確認方法
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
抜き取り部の補修方法
※図示による

・Uカットシール材充填工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3未満	
	0.3以上～0.5未満	
	0.5以上～1.0未満	
	1.0超過	
・シーリング材	1.0超過～1.5未満	
	1.5以上～2.0未満	
	2.0以上～未満	

・シーリング材
充填材の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う
・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
・可とう性エポキシ樹脂		

・充填工法

材料	平均深さ(mm)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数
・ポリマーセメントモルタル	5～10未満		
	10～15未満		
	15～20未満		
	20～25未満		
	25～30未満		
・エポキシ樹脂モルタル	30～35未満		
	35～40未満		

注入状況の確認方法
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
抜き取り部の補修方法
※図示による

・Uカットシール材充填工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3未満	
	0.3以上～0.5未満	
	0.5以上～1.0未満	
	1.0超過	
・シーリング材	1.0超過～1.5未満	
	1.5以上～2.0未満	
	2.0以上～未満	

キヤド・キャム株式会社 一級建築士事務所

〒997-0017
山形県鶴岡市大宮寺字日本国378番12
TEL 0235-25-1211
FAX 0235-22-4078
E-mail cao@cad-cam.co.jp

代表
設計者

一級建築士
第328648号

加藤 美 秋

製 図

検 図

令和7年1月31日

担 当

主 査

課 長

訂 正

特 記

出羽庄内国際村改修工事（内部改修）

特記仕様書（2）

A-002

作 図

2025・01・31

縮 尺

N.S

区 分

5 建具 改修 工事	⑤ アルミニウム 製建具	性能値等 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 気密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 水密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 外部に面する建具の種別 ・A種（建具符号：・建具表による・） ・B種（建具符号：・建具表による・） ・C種（建具符号：・建具表による・） 枠の見込み寸法 （・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ※BB-1・BB-2（改修標準仕様書表5.2.2） 着色 ・標準色・特注色 屋内の建具 種別 ※BC-1・BC-2（改修標準仕様書表5.2.2） 着色 ・標準色・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による・	<5. 2. 2～5><表5. 2. 2>	9. 鋼製軽量建具	材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ mm ※改修標準仕様書表5.4.2による ・使用箇所（・） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による・ 性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ mm ※改修標準仕様書表5.5.1による ・使用箇所（・） 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による・ 性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	<5. 2. 2><5. 5. 2～4>	9. 鋼製軽量建具	12. 建具用金物	⑩ 鍵	○特殊加工 化粧合板 化粧加工の方法 ※プリント ○ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類・2類） ・MF 表面板の厚さ ※改修標準仕様書表5.7.6による ・ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない・適用する ・かまち戸 かまち樹種（・）鏡板樹種（・） 見込み寸法 ※30mm・建具表による・ ・ふすま 張りの種別（・Ⅰ型・Ⅱ型） 上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子※新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁・生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19.5mm・建具表による・ ・戸ぶすま 表面板の仕上・建具表による・ 見込み寸法 ※30mm・建具表による・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm・建具表による・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による・ 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.11により適用は建具表による・ ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5.8.5による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による・ マスターキー ・製作する ・製作しない ○既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組（室名札付き） ・ 鍵箱 ○無し・有り 戸の開閉方式 ・建具表による・ ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.11による（防錆・適用する・適用しない） ・以下による 種類・開閉方式（・） 耐電圧（・） 温度上昇（・） 耐久性（サイクル）（・） 防錆（・） 電源（・） ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による（防錆・適用する・適用しない） ・以下による 耐電圧（・） 温度上昇（・） 耐久性（サイクル）（・） 防錆（・） 電源（・） ・引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.3による（防錆・適用する・適用しない） ・以下による 耐電圧（・） 防錆（・） 防滴（・） 電源（・） 引き戸用検出装置の種類及び必要性性能項目 ・建具表による・ ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ・光線式タッチスイッチ	<5. 8. 1～3>	17. 軽量シャッター	18. オーバー ヘッドドア	⑪ ガラス	車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う※行わない 性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1 ・以下による 手動開き力（・） 手動閉じ力（・） 閉じ速度の調整（・） 制動区間（・） 開閉繰返し（・） 耐衝撃性（・） シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（・）Pa 開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所・建具表による・） 電動式シャッターの障害物感知装置 （設置箇所・建具表による・） 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 （設置箇所・建具表による・） 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式（手動併用） 耐風圧強度（・）Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 （設置箇所・建具表による・） スラットの材質の種類 ※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※Z06又はF06） ・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※A20） ・ スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 セクション材料 による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ 耐風圧 性能区分 ・50 ・75 ・100 ・125 開閉方式 による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式 による区分 ※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形 ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 （設置箇所・建具表による・） ○フロント板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による・ ・型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による・ ・網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による・ ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による・ 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類・Ⅲ類 ○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による・ ・破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類・Ⅲ類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※建具表による・ ・性能による種類 ・1種・2種	<5. 10. 3>	<5. 11. 2、3>	<5. 12. 2～4>	<5. 13. 2、3>
		性能値等 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 気密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 水密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 外部に面する建具の種別 ・A種（建具符号：・建具表による・） ・B種（建具符号：・建具表による・） ・C種（建具符号：・建具表による・） 枠の見込み寸法 （・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ※BB-1・BB-2（改修標準仕様書表5.2.2） 着色 ・標準色・特注色 屋内の建具 種別 ※BC-1・BC-2（改修標準仕様書表5.2.2） 着色 ・標準色・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による・	<5. 2. 3、5. 3. 3>		性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ mm ※改修標準仕様書表5.5.1による ・使用箇所（・） 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による・ 性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	<5. 2. 2><5. 5. 2～4>				<5. 7. 2～4>	<3. 7><5. 14. 2～4>								
		性能値等 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 気密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 水密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 外部に面する建具の種別 ・A種（建具符号：・建具表による・） ・B種（建具符号：・建具表による・） ・C種（建具符号：・建具表による・） 枠の見込み寸法 （・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ガラス ※複層ガラス ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による・	<5. 2. 2><5. 3. 2～5>		性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	<5. 2. 2><5. 4. 2～4><表5. 4. 2>				<5. 7. 2～4>	<3. 7><5. 14. 2～4>								
		性能値等 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 気密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 水密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 外部に面する建具の種別 ・A種（建具符号：・建具表による・） ・B種（建具符号：・建具表による・） ・C種（建具符号：・建具表による・） 枠の見込み寸法 （・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ガラス ※複層ガラス ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による・	<5. 2. 2><5. 3. 2～5>		性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	<5. 2. 2><5. 4. 2～4><表5. 4. 2>				<5. 7. 2～4>	<3. 7><5. 14. 2～4>								

6. 網戸等	⑥ アルミニウム 製建具	性能値等 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 気密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 水密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 外部に面する建具の種別 ・A種（建具符号：・建具表による・） ・B種（建具符号：・建具表による・） ・C種（建具符号：・建具表による・） 枠の見込み寸法 （・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ※BB-1・BB-2（改修標準仕様書表5.2.2） 着色 ・標準色・特注色 屋内の建具 種別 ※BC-1・BC-2（改修標準仕様書表5.2.2） 着色 ・標準色・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による・	<5. 2. 3、5. 3. 3>	10. ステンレス製 建具	材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ mm ※改修標準仕様書表5.5.1による ・使用箇所（・） 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による・ 性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	<5. 2. 2><5. 4. 2><5. 6. 2～5>	14. 自動ドア開閉 装置	⑪ 鍵	⑫ ガラス	○特殊加工 化粧合板 化粧加工の方法 ※プリント ○ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類・2類） ・MF 表面板の厚さ ※改修標準仕様書表5.7.6による ・ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない・適用する ・かまち戸 かまち樹種（・）鏡板樹種（・） 見込み寸法 ※30mm・建具表による・ ・ふすま 張りの種別（・Ⅰ型・Ⅱ型） 上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子※新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁・生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19.5mm・建具表による・ ・戸ぶすま 表面板の仕上・建具表による・ 見込み寸法 ※30mm・建具表による・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm・建具表による・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による・ 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.11により適用は建具表による・ ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5.8.5による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による・ マスターキー ・製作する ・製作しない ○既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組（室名札付き） ・ 鍵箱 ○無し・有り 戸の開閉方式 ・建具表による・ ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.11による（防錆・適用する・適用しない） ・以下による 種類・開閉方式（・） 耐電圧（・） 温度上昇（・） 耐久性（サイクル）（・） 防錆（・） 電源（・） ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による（防錆・適用する・適用しない） ・以下による 耐電圧（・） 温度上昇（・） 耐久性（サイクル）（・） 防錆（・） 電源（・） ・引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.3による（防錆・適用する・適用しない） ・以下による 耐電圧（・） 防錆（・） 防滴（・） 電源（・） 引き戸用検出装置の種類及び必要性性能項目 ・建具表による・ ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ・光線式タッチスイッチ	<5. 8. 1～3>	17. 軽量シャッター	18. オーバー ヘッドドア	⑬ ガラス	車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う※行わない 性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1 ・以下による 手動開き力（・） 手動閉じ力（・） 閉じ速度の調整（・） 制動区間（・） 開閉繰返し（・） 耐衝撃性（・） シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（・）Pa 開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所・建具表による・） 電動式シャッターの障害物感知装置 （設置箇所・建具表による・） 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 （設置箇所・建具表による・） 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式（手動併用） 耐風圧強度（・）Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 （設置箇所・建具表による・） スラットの材質の種類 ※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※Z06又はF06） ・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※A20） ・ スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 セクション材料 による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ 耐風圧 性能区分 ・50 ・75 ・100 ・125 開閉方式 による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式 による区分 ※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形 ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 （設置箇所・建具表による・） ○フロント板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による・ ・型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による・ ・網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による・ ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による・ 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類・Ⅲ類 ○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による・ ・破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類・Ⅲ類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※建具表による・ ・性能による種類 ・1種・2種	<5. 10. 3>	<5. 11. 2、3>	<5. 12. 2～4>	<5. 13. 2、3>
		性能値等 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 気密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 水密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 外部に面する建具の種別 ・A種（建具符号：・建具表による・） ・B種（建具符号：・建具表による・） ・C種（建具符号：・建具表による・） 枠の見込み寸法 （・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ※BB-1・BB-2（改修標準仕様書表5.2.2） 着色 ・標準色・特注色 屋内の建具 種別 ※BC-1・BC-2（改修標準仕様書表5.2.2） 着色 ・標準色・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による・	<5. 2. 3、5. 3. 3>		性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ mm ※改修標準仕様書表5.5.1による ・使用箇所（・） 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による・ 性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	<5. 2. 2><5. 5. 2～4>				<5. 7. 2～4>	<3. 7><5. 14. 2～4>								
		性能値等 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 気密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 水密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 外部に面する建具の種別 ・A種（建具符号：・建具表による・） ・B種（建具符号：・建具表による・） ・C種（建具符号：・建具表による・） 枠の見込み寸法 （・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ガラス ※複層ガラス ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による・	<5. 2. 2><5. 3. 2～5>		性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	<5. 2. 2><5. 4. 2～4><表5. 4. 2>				<5. 7. 2～4>	<3. 7><5. 14. 2～4>								
		性能値等 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 気密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 水密性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 外部に面する建具の種別 ・A種（建具符号：・建具表による・） ・B種（建具符号：・建具表による・） ・C種（建具符号：・建具表による・） 枠の見込み寸法 （・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ガラス ※複層ガラス ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による・	<5. 2. 2><5. 3. 2～5>		性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	<5. 2. 2><5. 4. 2～4><表5. 4. 2>				<5. 7. 2～4>	<3. 7><5. 14. 2～4>								

5
建具
改修
工事

20. ガラス
ブロック積み

⑪ ガラス用
フィルム

6
内装
改修
工事

① 改修範囲

② 既存床の撤去
及び下地補修

③ 既存壁の撤去
及び下地補修

④ 施工一般

5. 製材

⑤ 造作用集成材

・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による

断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6

日射取得性、日射遮蔽性による区分
・6 ・5

乾燥気体の種類
・空気 ・アルゴン ・

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による

日射熱遮へい性による区分
・1種 ・2種 ・3種

耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合）
・A種 ・B種

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	・グレイジングガasket	※建具の製造所の仕様による ・図示による

<5.14.5>

呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地 位置 (mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による

力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)
・

寸法
※径5.5mm ・

形状
※はしご形状複筋及び単筋

化粧目地モルタルの色（・白 ・グレー）
シーリングの種類 （・SR-1 ・PS-1）

金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製

寸法
※図示による ・

形状
※図示による ・

目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による

品質は、JIS A 5759による。

7. 造作用単板
積層材

8. 合板等

9. 接合具等

⑩ 接着剤

11. 防腐・防蟻
処理

<6.1.3>

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

<6.2.2>

ビニル床シート等の除去
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による ・除去範囲全て）

合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法

既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。

改修後の床の清掃範囲
※図示による ・

<6.3.2>

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による）
・

<6.5.2>

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による

<6.5.2>

JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
		※2級	※A種 ・B種 ・	
		※2級	※A種 ・B種 ・	

JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種 ・	
見え掛り面 以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種 ・	

JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	

JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率
		（ 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
		（ 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

<6.5.2>

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
					※1等 ・2等
					※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板: 芯材:			※1等 ・2等	
		化粧薄板: 芯材:			※1等 ・2等	

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・

7. 造作用単板
積層材

8. 合板等

9. 接合具等

⑩ 接着剤

11. 防腐・防蟻
処理

<6.5.2>

JAS 0701 に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理
				・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない

JAS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理
			※14%以下	・適用する ・適用しない
			※14%以下	・適用する ・適用しない

JAS 3079 に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)

・「合板の日本農林規格」による普通合板

<6.5.2>

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※0-D以上 ・	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※0-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理
			1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ	※P又はM		※15 ・

JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法 (mm)

・MDF

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し

諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)
・ (形状: 寸法: 材質:)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

<6.5.3>

適用部材	保存処理性能区分
・K2 ・K3 ・K4	
・K2 ・K3 ・K4	
・K2 ・K3 ・K4	

<6.5.3、4>

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

<6.5.5>

適用部材	保存処理性能区分
・K2 ・K3 ・K4	
・K2 ・K3 ・K4	
・K2 ・K3 ・K4	

12. 内部間仕切軸組
及び床組み

13. 窓、出入口
その他

⑭ 軽量鉄骨天井
下地

⑮ 軽量鉄骨壁
下地

⑯ ビニル床
シート

⑰ ビニル床
タイル

18. 特殊機能床材

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理

適用部位 ()

・合板等の加圧注入処理の適用

適用部位 ()

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・

・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※吊元枠、水掛りの下枠及び数居はひのき、その他は松又は杉
・

野縁等の種類
屋外
※25形 ・19形

屋内
※19形 ・25形

屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びビーンサートの間隔
・図示による

周辺部の端からの間隔
・図示による

野縁の間隔
・図示による

既存の埋込みインサート
・使用する ・使用しない

あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う

試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所
()箇所

引張試験にて確認する強度
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度
・()N

※行わない

・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
(補強方法 ※図示による)

・天井のふところ高3.0mを超える場合
(補強方法 ※図示による)

・天井下地材における耐震性を考慮した補強
(補強箇所 ※図示による)
(補強方法 ※図示による)

スタッド、ランナーの種類
※改修標準仕様書表6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による

スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による

出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による

<6.8.2、3>

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考
※FS(複層ビニル床シート)	※無地 ・マーブル柄 ○柄物	※2.0 ・	

接合部の処理
※熱溶接工法 ・

<6.8.2>

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
※KT (コキゾナビニル床タイル)	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0	
・IT (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・	
○IT (複層ビニル床タイル)	・無地 ○柄物	・300×300 ○450×450	・2.0 ・2.5 ○3.0	
・FOA (置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0 ・	
・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・	・	

・帯電防止床シート

<6.8.2>

種類 ()

性能 ()

厚さ(mm) ()

・帯電防止床タイル

種類 ()

性能 ()

寸法(mm) () × ()

厚さ(mm) ()

・視覚障害者用床タイル
ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。

種類 ()

形状 ()

・耐動荷重性床シート

種類 ()

厚さ(mm) ()

6 内装改修工事	⑬ ビニル幅木	・防滑性床シート 種類 () 厚さ(mm) () ・防滑性床タイル 種類 () 寸法(mm) () × () 厚さ(mm) ()	<6. 8. 2>	23. フローリング張り	フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ※改修標準仕様書6.11.2(2)による ・ 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・単層フローリング (フローリングボード等) 工法 ・釘留め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら ・ ・単層フローリング (フローリングブロック等) 樹種 ・ 厚さ (mm) ・ 大きさ ・ ・複合フローリング 工法 ・釘留め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら ・ 種別 ・A種 ・B種 ・C種 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ ・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地そのままワックス塗り	<6.11.2～6>	⑭ 壁紙張り	せっこうボード ○せっこうボード (BB-R) ・セップ/せっこうボード (BB-S) ・強化せっこうボード (BB-F) ・せっこう繊維ボード (BB-L) ・不燃積層せっこうボード (BB-NC) ・化粧無し (下地張り用) ・化粧有り (15mm模様)	⑮ モルタル塗り	モルタル ・現場調査材料 ・既調査材料 既製目地材 ・設ける ・設けない 床の目地 ・設ける 目地割り ※2mm程度 (最大目地間隔3mm程度) ・ 目地の種類 ※押し目地 ・ ・設けない 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ・図示による ・	27. モルタル塗り	モルタル ・現場調査材料 ・既調査材料 既製目地材 ・設ける ・設けない 床の目地 ・設ける 目地割り ※2mm程度 (最大目地間隔3mm程度) ・ 目地の種類 ※押し目地 ・ ・設けない 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ・図示による ・	28. タイル張り	伸縮目地の位置 床タイル ※縦、横とも4m以内ごと ・図示による ・ 床タイル以外 ・図示による ・ 伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による 見本焼き ・行う (施工箇所：) ・行わない 試験張り ・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない ・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等	⑯ タイル張り	壁タイル張りの工法 内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等			
		材質の種類 ※軟質 高さ(mm) ○60 厚さ(mm) ※1.5以上			・単層品 ・積層品 色柄 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) () × ()			・織じゅうたん 織り方 ・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット		24. 畳敷き		<6.12.2> 種別 ・A種 ・B種 ※C種 ・D種 (畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン) ・ 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1 ・C2)		ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・		① 材料 ② 下地調整	① 材料 ② 下地調整	③ 素地ごしらえ	④ 錆止め塗料塗り
		・タフテッドカーペット バイルの形状 ・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用			下敷き材(グリッパ-工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・			○タイルカーペット バイルの形状 種類 施工箇所 寸法(mm) 総厚さ(mm) 備考 ※ループバイル ※第一種 ・第二種 ・ ※500×500 ※6.5 ・ ・カットバイル ・第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5 ・ ・カット・ループ併用 ・第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5 ・		⑫ せっこうボード その他のボード 及び合板張り		MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2) (イ)の(a)～(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 表面への化粧張り等の加工 ※図示による ・		種類等 厚さ(mm)、規格等 木質系セメント板 ・木毛セメント板 ・硬質(HH) ・中質(MH) ・普通(NH) ・木片セメント板 ・硬質(HF) ・普通(NF) 繊維強化セメント板 ・けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK 火山性ガラス質複層板 ・火山性ガラス質複層板 種類 ※図示による ・		⑬ タイル張り	伸縮目地の位置 床タイル ※縦、横とも4m以内ごと ・図示による ・ 床タイル以外 ・図示による ・ 伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による 見本焼き ・行う (施工箇所：) ・行わない 試験張り ・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない ・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等	⑭ タイル張り	壁タイル張りの工法 内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等
		色柄 ※模様のない無地 ・ バイル系の繊維種等 ※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種) ・ 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・			24. 畳敷き			<6.12.2> 種別 ・A種 ・B種 ※C種 ・D種 (畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン) ・ 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1 ・C2)		ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・		① 材料 ② 下地調整		① 材料 ② 下地調整		③ 素地ごしらえ	④ 錆止め塗料塗り		
22. 合成樹脂塗床	⑩ カーベツト敷き	・タフテッドカーベツト バイルの形状 ・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	<6. 8. 2>	⑫ せっこうボード その他のボード 及び合板張り	⑫ せっこうボード その他のボード 及び合板張り	<6.13.2、3> MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2) (イ)の(a)～(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 表面への化粧張り等の加工 ※図示による ・	⑬ タイル張り	種類等 厚さ(mm)、規格等	⑭ タイル張り	<6.15.3、5、6>	⑮ タイル塗り	⑯ タイル張り	⑰ タイル張り						
		色柄 ※模様のない無地 ・ バイル系の繊維種等 ※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種) ・ 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・			施工箇所 紙 繊維 強化ガラス 無機質 その他 防火性能														
		・下敷き材(グリッパ-工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・			交流ハ-ス 多目的ハ-ス 調理ハ-ス 研修室														
		○タイルカーベツト バイルの形状 種類 施工箇所 寸法(mm) 総厚さ(mm) 備考 ※ループバイル ※第一種 ・第二種 ・ ※500×500 ※6.5 ・ ・カットバイル ・第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5 ・ ・カット・ループ併用 ・第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5 ・			モルタル及びせっこうプaster面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種 コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種 せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種														
22. 合成樹脂塗床	⑩ カーベツト敷き	・タフテッドカーベツト バイルの形状 ・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	<6. 8. 2>	⑫ せっこうボード その他のボード 及び合板張り	⑫ せっこうボード その他のボード 及び合板張り	<6.13.2、3> MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2) (イ)の(a)～(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 表面への化粧張り等の加工 ※図示による ・	⑬ タイル張り	種類等 厚さ(mm)、規格等	⑭ タイル張り	<6.15.3、5、6>	⑮ タイル塗り	⑯ タイル張り	⑰ タイル張り						
		色柄 ※模様のない無地 ・ バイル系の繊維種等 ※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種) ・ 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・			施工箇所 紙 繊維 強化ガラス 無機質 その他 防火性能														
		・下敷き材(グリッパ-工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・			交流ハ-ス 多目的ハ-ス 調理ハ-ス 研修室														
		○タイルカーベツト バイルの形状 種類 施工箇所 寸法(mm) 総厚さ(mm) 備考 ※ループバイル ※第一種 ・第二種 ・ ※500×500 ※6.5 ・ ・カットバイル ・第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5 ・ ・カット・ループ併用 ・第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5 ・			モルタル及びせっこうプaster面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種 コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種 せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種														
22. 合成樹脂塗床	⑩ カーベツト敷き	・タフテッドカーベツト バイルの形状 ・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	<6. 8. 2>	⑫ せっこうボード その他のボード 及び合板張り	⑫ せっこうボード その他のボード 及び合板張り	<6.13.2、3> MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2) (イ)の(a)～(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 表面への化粧張り等の加工 ※図示による ・	⑬ タイル張り	種類等 厚さ(mm)、規格等	⑭ タイル張り	<6.15.3、5、6>	⑮ タイル塗り	⑯ タイル張り	⑰ タイル張り						

[illegible]

16. コンクリートの打込み工法等	コンクリートの打設工法の種類 補強工法 打設工法 部位 ・現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・工法指定なし ・全ての増設壁 ・図示による() ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・全ての増設壁 ・図示による() ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3) ・全ての増設壁 ・図示による() ・図示による() ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接鎖閉鎖フープ巻き工法) ・工法指定なし ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3) ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() ・ ・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・流込み工法 8.21.8(1)(4),(3) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3) 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等 柱頭及び柱脚の隙間の寸法 ・図示による() 柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠 ・発泡プラスチック保温材等を埋込む 既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ ・図示による() 補強後の仕上げ ・図示による()			<8.21.8><8.23.5~7>										
	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場()グレード以上 ・監督職員の承諾する工場 ※配置する 種類等 種類の記号 適用箇所(主要な部分) 規格 SS400 補強柱、つなぎ梁 ・JISによる ・JISによる ・JISによる ・JISによる ・JISによる ・JISによる 高力ボルトの種類 ※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による() 摩擦面の処理方法 ・改修標準仕様書8.14.2(1)による。 ・ ・すべり試験の実施 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。 ボルト及びナットの材料 ・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。 ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。 ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。 ナットの規格は、JIS B 1181とする。 ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。 座金 ※JIS B 1256による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による() 母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による() 摩擦面の処理方法 ・プラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・りん酸塩処理 ・ ・すべり試験の実施 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。													
8-3 鉄骨工事	① 鉄骨製作工場	<8.1.5>			7. アンカーボルト <5.8.4>(7.2.4)(7.3.2) ・構造用アンカーボルト 種類 ・ABR400 ・ABR490 ・ ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト適用箇所 ・図示による() 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しタイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による 仮組を行う範囲 ・図示による() 試験の要領 ・図示による() 開先の形状 ・図示による() ・鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4 [受入検査]e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 ※全数 工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() 塗料の種別 下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 ※A種 JIS K 5674 2回塗 耐火被覆材が接着する面の塗料の種別 ・	⑤ 溶接材料 <8.2.10>	9. スタッド <8.2.11>	10. 製作精度 <8.13.3>	11. 仮組 <8.13.10>	12. 溶接作業を行う技能資格者技量付加試験 <8.15.3>	13. 溶接接合 <8.15.4><8.15.7>	14. 入熱・バス間温度の溶接条件 <8.15.7><8.15.10>	⑬ 溶接部の試験 <8.15.12>	⑭ 錆止め塗装 <7.3.3><8.17.2、4>
8-4 あと施工アンカー工事	① あと施工アンカー	<8.2.4>				17. 耐火被覆 <8.12.2>~<8.18.8>	8-5 グラウト工事	1. 柱底均しモルタル及びグラウト材 <8.2.12> ・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ ・グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態は、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンシステンシー J ロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒 フリージング 練り混ぜ2時間後のフリージング率 20%以下 凝結時間 凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0 N/mm ² 以上 材齢 28日 40.0 N/mm ² 以上 塩化物量 0.30kg/m ² 以下 試験方法 1)NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はブレミックス形のみとする。 2)塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	8-6 連続繊維補強工事	1. 連続繊維シート <8.2.13><8.24.6> 連続繊維の材料 ・炭素繊維 ・アラミド繊維 引張強度(含浸硬化後) () N/mm ² ヤング係数(含浸硬化後) () N/mm ² ・下地処理 ・ひび割れ部改修範囲 ・図示による() 工法の種類 ・ ・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・図示による() 連続繊維補強材の強度試験 ・引張強度試験 ※JIS A 1191(コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による ・ 試験数量 ・図示による() ・ ・付着強度試験 ※JIS A 6909(建築用仕上塗材)による ・ 試験数量 ・図示による() 2. 仕上げ 補強工事後の仕上げ ・図示による() <8.24.7>	8-7 耐震スリット新設工事	1. 耐震スリットの方式、幅及び深さ <8.25.2> 方式 ・完全 ・部分 幅及び深さ ・図示による() 設置箇所 ・図示による() 2. 耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査 <8.12.4> 既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする ・はつりだしによる 3. 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 <8.25.2> 耐火材 使用箇所及び仕様 ・図示による() 遮音材 使用箇所及び仕様 ・図示による() 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修		

8-8

土工事及び地業工事

1. 埋戻し及び盛土

材料及び工法

② 砂利地業

④ 捨コンクリート地業

9

環境配慮改修工事

① 石綿含有建材の除去工事

施工調査

石綿含有建材の処理

石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去

石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外）の除去

2. 断熱遮断防水改修工事

断熱・防露改修工事

5. 屋上緑化改修工事

透水性70%舗装改修工事

植栽基盤及び材料

試験

路盤

舗装の構成

 キヤド・キャム株式会社 一級建築士事務所 CAD/CAM 一級建築士事務所 山形県知事登録(1305)第1800号	〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-0788 E-mail cao@cad-cam.co.jp	代表設計者	一級建築士 第328648号 加藤 美秋	製図	校図	令和7年 1月31日	担当	主査	課長	訂正	特記	工事名	図面名	図番
		担当設計者				鶴岡市建築課 設計承認								出羽庄内国際村改修工事（内部改修）
												作図	縮尺	区分

①フリーアクセスフロア

②可動間仕切

3.移動間仕切

4.トイレブース

⑤手すり

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
調理スペース	・置敷式 ○支柱調整式	・500×500	○300	・1.06 ・0.66	○0.000N ・5.000N	・帯電防止床材 ・特殊ベト ○長尺塩ビシート

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ) (a)～(c)による
・以下による
（パネルの長さの寸法精度）
（パネルの平面形状（角度）の寸法精度）
（フリーアクセスフロアの高さの寸法精度）

帯電防止性能
・評価値 (U) ≥0.6以上
・評価値 (U) ≥1.2以上

感電防止性能
漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁶ Ω

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・H形 ・H形	・ポリ樹脂焼付又は 7mm樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具
・有り（※図示による）
・無し

パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としては、標準仕様書16章3節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※☆☆☆☆

(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の種類	総厚さ (mm)	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・アーム式 ・バッド式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ※36以上

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示による

パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの

ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

(20.2.5)

表面材の材料	脚部種類	ドアエッジ材質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製

(20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
・SUS304 表面処理 ※HL程度
○鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表14.2.2による種別（ ）種）
・アルミニウム 表面処理
（※標準仕様書表14.2.1による種別（ ）種）
色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ）

手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
・集成材 （材種： ）	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度		
○ビニル製		○35程度 ・45程度	スロープ	

⑥階段滑り止め

⑦黒板及びホワイトボード

⑧鏡

9.表示

10.タラップ

11.煙突ライニング

12.ブラインド

13.ロールスクリーン

14.カーテン

(20.2.7)

材種
※ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材

形状
※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂脂合等)
・タイヤレス型

寸法(幅)
・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度

取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

(20.2.9)

・黒板
区分
※焼き付け
種類
・鋼製黒板
・ほうろう黒板
・色
※緑
○ホワイトボード

(20.2.10)

取付け箇所（多目的スペース）
寸法 (mm)
○図示による
厚さ (mm)
※5

(20.2.11)

衝突防止表示
・設置する（設置場所：※図示による）
形状・寸法（・30φ）
材質（※ステンレス製）
・設置しない

誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

(20.2.12)

材質及び仕上げ
・SUS304 (スリップ止め加工 ※あり なし)
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
(※標準仕様書表14.2.2による種別 (※0種 種))

(20.2.13)

適用安全使用温度
・工法
※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)

(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	スラット・レールの材種	幅・高さ
・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7mm幅 合金製	※25	※鋼製	・図示による
・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 1本操作コード式	・7mm幅 加工スラット	80 100	※7mm幅 合金製	・図示による

縦型ブラインドのスラットの材質
・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

(20.2.15)

操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの

(20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所
・ツグ ・ダグ	・片引き ・引分け	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・フレットひだ		・図示による

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上

⑬カーテンレール

⑭ブラインドボックス及びカーテンボックス

⑰天井点検口

18.床点検口

19.くつふきマット

20.流し台ユニット

21.旗竿

22.旗竿受金物

23.車止めさく

24.フェンス

25.間知石及びコンクリート間知ブロック積み

26.鋼製書架及び物品棚

(20.2.16)

材料による区分
・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
※ステンレス製
強さによる区分
※10-90
仕上げ
※アルマイト
形状
※角形

材種
○集成材 (仕上げ：SOP)
※アルミニウム製 押出し型材（市販品）
標準仕様書表14.2.11による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色（ ） ・特注色（ ）
・鋼製（仕上げ： ）

材種	寸法	形式	外枠	内枠
※アルミニウム製	※450×450 ○600×600	○一般形 ・密閉形	・屋内外用 ※目地タイプ	・鋼線タイプ ※目地タイプ

材種	寸法	形式	備考
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

材種	受け枠	備考
※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製	※ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

材種	寸法 (mm)	備考		
	W D H			
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式

形状
※図示による

材種	形式	高さ (mm)	操作方法	固定方法	備考
※アルミニウム合金製	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

材種
・ステンレス製 (SUS 304)

形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)
・上下式鎖内蔵式 ・スプリング式	・標準品 ・ステンレス製		

フェンスの種類
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ
・図示による

(20.4.2、3)

	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	
・コンクリート 間知ブロック	—		・A ・B	

積み方
※谷積み ・布積み
目塗り
・図示による
伸縮調整目地
材種
・図示による
厚さ
・図示による

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種

27.屋内掲示板

28.洗面カウンター

29.防煙垂れ壁

30.屋外掲示板

④収納家具

11.総揮発性有機化合物（TVOC）測定仕様書

4.測定する室

5.測定結果等報告書の提出

6.その他

枠の材質
※アルミニウム製

表面の材質
※塩ビ発泡シート張り

材種
・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）
・人工大理石
奥行き (mm)
・約450 ・約600

・固定式

材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ (mm)	備考
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構
煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

照明器具
・有り ・無し
施錠
・有り ・無し
製造所
・

合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※☆☆☆☆
材質、形状、寸法
※図示による

1） 14物質及びTVOC濃度を測定する室等
・ 室名：

2） 9物質及びTVOC濃度を測定する室
・ 室名：

・ 屋外(周囲の建物から離れた場所 1 か所)

次の事項を記載した報告書を2部提出する。
1) 測定結果（アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。）
2) 試料採取時の状況（気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数）
3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器
4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

表の化学物質①から⑤のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。
TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。

キャド・キャン株式会社 一般建築士事務所

 **CadCam**

一般建築士事務所 山形県知事登録（1305）第1800号

〒997-0017
山形県鶴岡市大宝寺字日本国378番12
TEL 0235-25-1211
FAX 0235-22-4078
E-mail cao@cad-cam.co.jp

代表
設計者
加藤 美秋
担当
設計者

製 図 換 図

令和7年1月31日

担 当

主 査

課 長

訂 正

特 記

出羽庄内国際村改修工事（内部改修）

作 図

2025・01・31

図 面 名

特記仕様書（10）

図 番

A-010

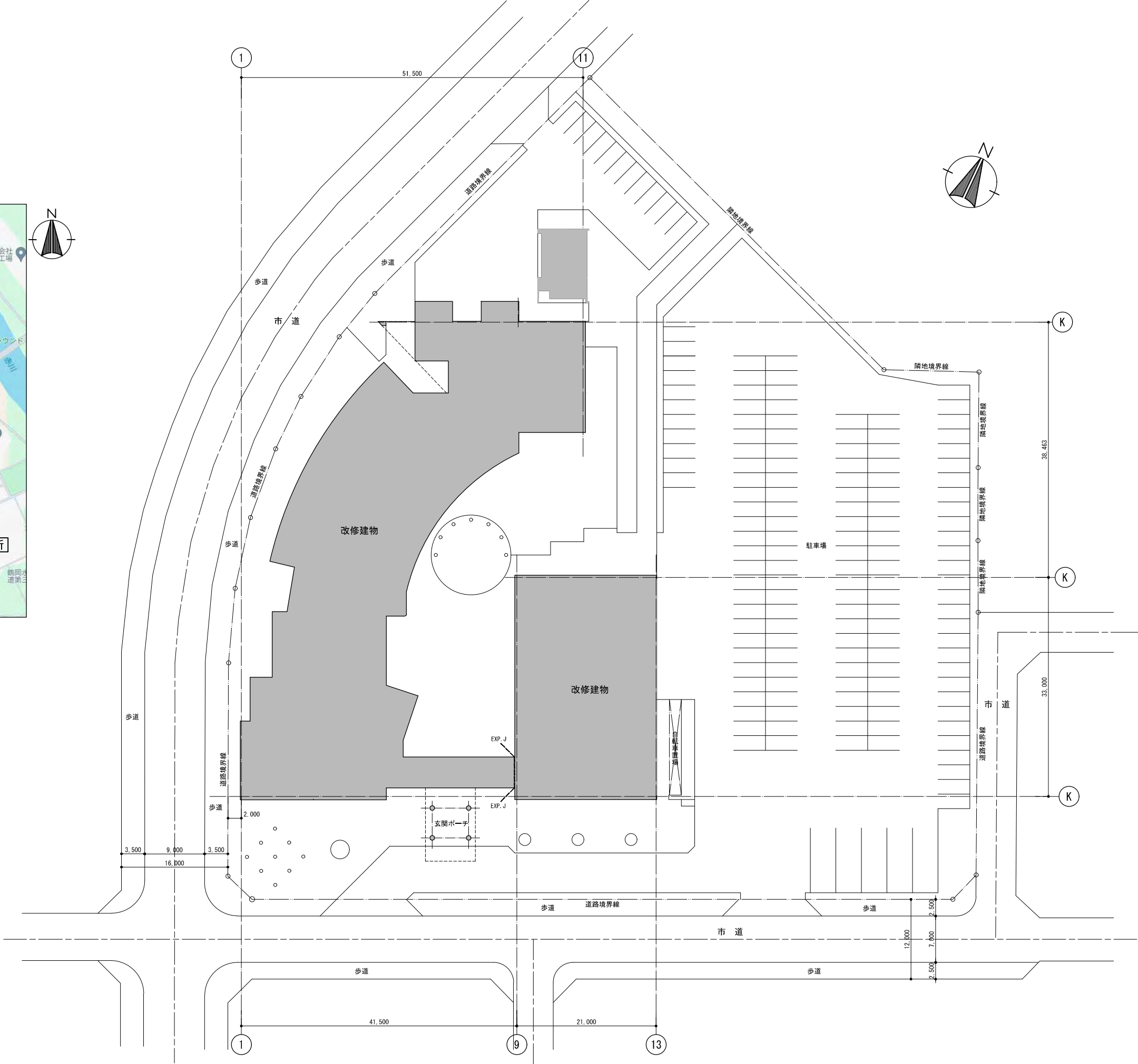
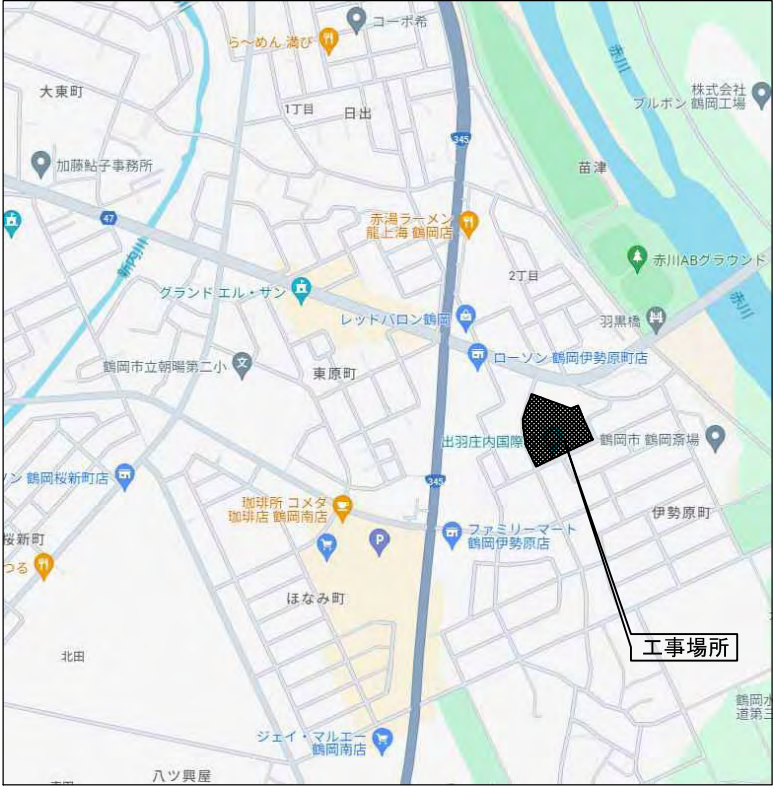
区 分

N.S

工 事 区 分 表														
躯体関係	項 目	建築	電気	機械	別途	備 考	仕上げ関係	項 目	建築	電気	機械	別途	備 考	
1. RC造 (梁・壁・床)の 貫通孔・開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け	○	○	○			5. フリーアクセスフロー	コンセント		○				
	補強を要する型枠材及び取付け	○						床パネルの切込み加工	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○										
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○			6. その他	点検口（天井・床下）	○					
	貫通孔・開口部の補強		○	○				排煙口等の天井仕上材の取付け	○					
	スリーブ・型枠の穴埋め	○						消火器ボックスの設置工事	○					
	吊ボルト及びインサート工事	○	○	○				消火器				○		
								カーテン・ブラインドボックス	○					
								カーテン・ブラインド				○		
								動力盤及び電灯盤		○				
						機械設備工事設置の各盤類への電源供給配管配線			○					
						動力盤以降の２次側電気工事			○					
						熱交換気扇の本体及び取付					○			
2. 設備機器の基礎	建築設計図に記載有るもの	○						同上用電気工事及びスイッチ工事		○				
	屋内の基礎（建築設計図に記載がないもの）		○	○				天井扇、有圧扇及び各送排風機の本体及び取付			○			
	屋外・屋内の基礎	○						同上用電源工事及びスイッチ工事		○				
	機器取付け用アンカー・架台		○	○										
仕上げ関係														
1. 軽量鉄骨天井・ 壁下地	補強を要するボードの切込み及び下地の補強	○												
	補強を要しないボードの切込み		○	○										
	開口部の墨出し		○	○										
2. 吊りボルト及び インサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○			1. 雑排水・汚水他	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備				○		
								樹及び樹蓋				○		
3. 外壁廻り	ウエザーカバー・ベントキャップ			○					グリーストラップ				○	
	換気扇（取付枠共）			○										
4. 調理スペース廻り	調理機器の搬入及び取付け	○												
	同上排水トラップ			○										
	同上配管接続（給水・給湯・排水・ガス）			○										
	同上電源工事		○											

※ 専門業者に依頼

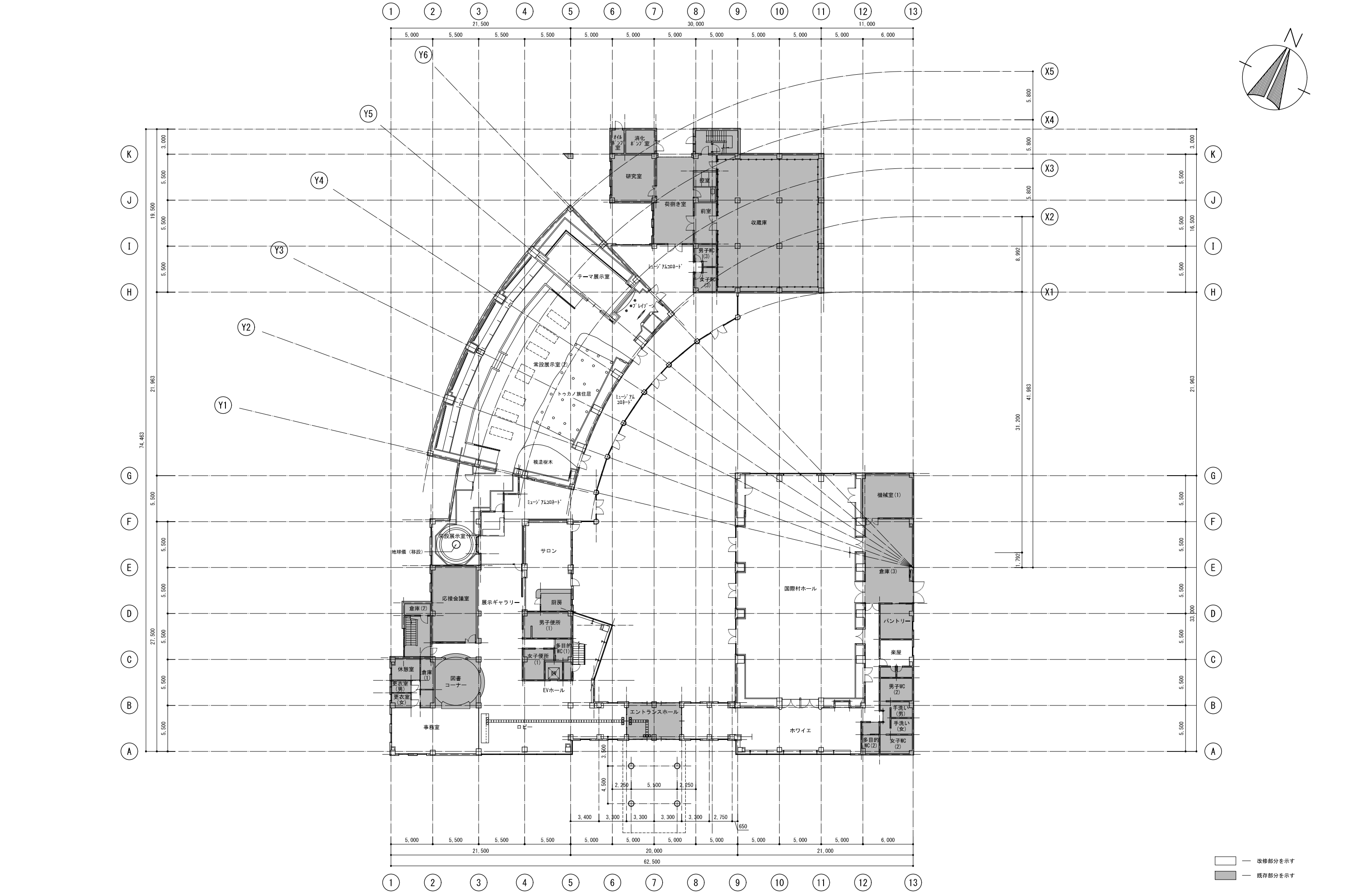
【 付近見取図 】



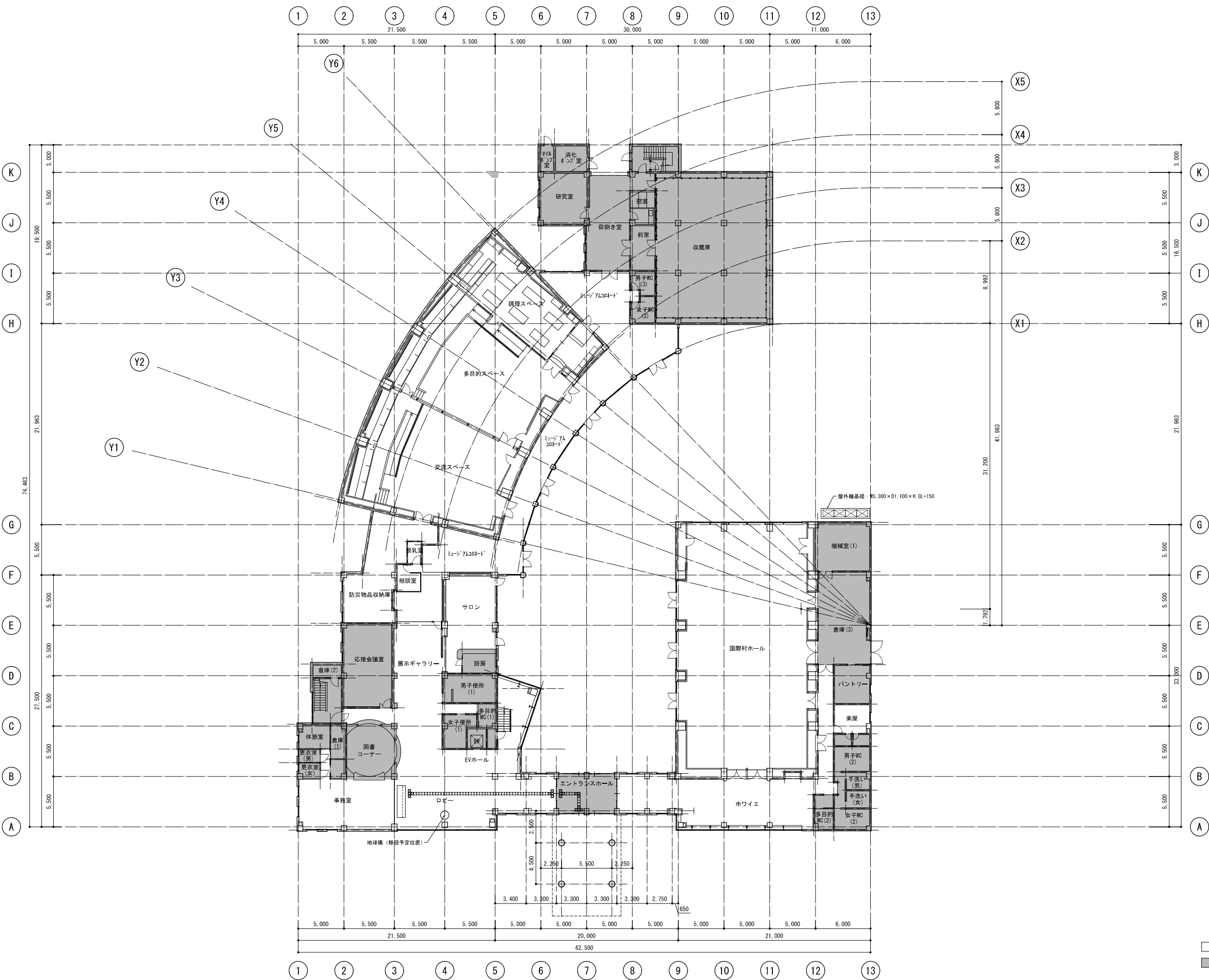
 キャド・カム株式会社 一級建築士事務所 〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-4078 E-mail cao@cad-cam.co.jp	代表 設計者	一級建築士 第328648号	加藤 美秋	製図	検図	令和7年 1月31日	担当	主査	課長	訂正	特記	工事名 出羽庄内国際村改修工事（内部改修）	図面名 案内図・配置図	図番 A-012
	担当 設計者					鶴岡市建築課 設計承認						作図 2025・01・31	縮尺 A1:1/300 A3:1/600	区分

内 部 仕 上 表																										
階	改 修 前										改 修 後															
	室 名	床 仕 上	仕上高	巾 木	H	壁 仕 上	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備 考	室 名	床 仕 上	仕上高	巾 木	H	壁 仕 上	天 井 仕 上	廻縁	天井高	備 考						
1	常設展示室（1）	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0	FL=±0	ソフト巾木	60	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り	GB-Rt12.5下地 AEP塗装	—	CH=2.500		防災物品収納庫	コンクリート素地	FL=±0	—	—	コンクリート素地	コンクリート素地	—	直天							
	常設展示室（2）	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0 一部 合板t12下地 樹脂+土練合せ	FL=±0	木製巾木OP	45	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り	メッシュシステム天井 1,200×1,200	—	CH=6.000		交流スペース	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0（貼替）木目	FL=±0	ソフト巾木	100	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り 一部ビニルクロス貼替	（既存）		CH=6.000							
											多目的スペース	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0（貼替）木目	FL=±0	ソフト巾木	100	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り 一部ビニルクロス貼替	（既存）		CH=6.000	ダンス用鏡 4,800×1,800						
	テーマ展示室	タイルカーペット 450×450×6.8	FL=±0	木製巾木OP	45	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り	メッシュシステム天井 1,000×1,000	—	CH=3.600		調理スペース	鋼製床+合板t12+t12下地 長尺塩ビシート t2.5貼り	FL+300	ソフト巾木	100	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り 一部ビニルクロス貼替	GB-Rt9.5下地 DRt12	塩ビ	CH=2.800	天井点検口 450×450 8箇所 約16'ー1'3.600×1,200						
	プレイゾーン	ホモジニアスビニル床タイル 300×300×3.0	FL=±0	木製巾木OP	45	銘木合板染色乱貼	メッシュシステム天井 1,000×1,000	—	CH=2.700		前室	鋼製床+合板t12+t12下地 長尺塩ビシート t2.5貼り	FL=±0 FL+300	ソフト巾木	100	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り 一部ビニルクロス貼替	GB-Rt9.5下地 DRt12	塩ビ	CH=3.100 CH=2.800	天井点検口 450×450 1箇所						
	受付	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0	FL=±0	コンクリート打放 入巾木	100	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り 腰壁：特殊型枠コンクリート打放	GB-Rt9.5下地 DRt12	塩ビ	(CH=4,000)		相談室	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0他（貼替）模様張り	FL=±0	ソフト巾木	100	（既存）	（既存）		(CH=4,000)							
	倉庫	ホモジニアスビニル床タイル 300×300×3.0	FL=±0	ソフト巾木	60	GB-Rt12.5下地 EP塗	GB-Rt9.5下地 EP塗	塩ビ	CH=2.350		授乳室	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0（貼替）	FL=±0	ソフト巾木	60	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り	GB-Rt9.5下地ビニルクロス貼り	塩ビ	CH=2.350							
	ロビー	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0他 模様張り	FL=±0	コンクリート入巾木 一部ソフト巾木	100	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り 腰壁：特殊型枠コンクリート打放	GB-Rt9.5下地 DRt12	塩ビ	CH=4.000		ロビー	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0他（貼替）模様張り	FL=±0	コンクリート入巾木 一部ソフト巾木	100	（既存）	（既存）		CH=4.000	点字ブロック 300×300 （貼替）						
	展示ギャラリー	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0他 模様張り	FL=±0	コンクリート入巾木 一部ソフト巾木	100	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り 腰壁：特殊型枠コンクリート打放	GB-Rt9.5下地 DRt12	塩ビ	CH=4.000		展示ギャラリー	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0他（貼替）模様張り	FL=±0	コンクリート入巾木 一部ソフト巾木	100	（既存）	（既存）		CH=4.000							
	事務室	タイルカーペット 450×450×6.8 フリーアクセスフロア H=50 下地	FL=±0	ソフト巾木	60	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り	GB-Rt9.5下地 DRt12	塩ビ	CH=3.000		事務室	タイルカーペット 450×450×6.8 フリーアクセスフロア H=50 下地 （貼替）	FL=±0	ソフト巾木	60	（既存）	（既存）		CH=3.000							
	サロン	タイルカーペット 450×450×6.8	FL=±0	ソフト巾木	100	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り	GB-Rt9.5下地 DRt12	塩ビ	CH=4.000		サロン	タイルカーペット 450×450×6.8（貼替）	FL=±0	ソフト巾木	100	（既存）	（既存）		CH=4.000							
	ミュージアム コロネード	タイルカーペット 450×450×6.8	FL=±0	コンクリート打放 入巾木	100	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り 腰壁：特殊型枠コンクリート打放	GB-Rt9.5下地 DRt12	塩ビ	CH=2.700 CH=3.000 CH=4.000		ミュージアム コロネード	ホモジニアスビニル床タイル 450×450×3.0（貼替）	FL=±0	コンクリート打放 入巾木	100	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り 腰壁：特殊型枠コンクリート打放	GB-Rt9.5下地 岩綿吸音板 t12貼り	塩ビ	(CH=2.700) (CH=3.000) (CH=4.000)							
2	調理実習室	長尺塩ビシート t2.5貼り	FL=±0	ソフト巾木	60	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り	GB-Rt9.5下地 DRt12	塩ビ	CH=2.700		研修室	タイルカーペット 500×500×6.8	FL=±0	ソフト巾木	60	GB-Rt12.5下地ビニルクロス貼り （ビニルクロス全て貼替）	GB-Rt9.5下地 岩綿吸音板 t12貼り （下地共に全て貼替）	塩ビ	CH=2.700	天井点検口 450×450 2箇所						
下 地 材 ・ 仕 上 材	GL	GL工法			GB-D		化粧石膏ボード（トラバーチン）			GB-S	シーリング石膏ボード			RW-B	ロックウール吸音ボード（不燃）			NF	普通木片セメント板			下 地 材 ・ 仕 上 材	・石膏ボード t9.5			QM-9828
	UL	UL工法（軽量鉄骨下地壁）			GB-D（和）		化粧石膏ボード（和風天井用）			GB-L	石膏ラスボード			DR	ロックウール化粧吸音板			FK	ケイ酸カルシウム板（内装用）				・石膏ボード t12.5			NM-8619
	GWG	グラスウールクロス包み			GB-NC		不燃積層石膏ボード			GB-P	吸音用穴明き石膏ボード							FK-P	ケイ酸カルシウム板（穴明き）				・化粧石膏ボード t9.5			QM-0524
	GWB	化粧グラスウール板			GB-NC-D		不燃積層石膏ボード（トラバーチン）			HB	ハードボード			HW	硬質木毛セメント板			FXB	フレキシブルボード				・ロックウール化粧吸音板（フラット）			NM-8599
	GW	グラスウール			GB-R-H		普通硬質石膏ボード			MDF	MDF板			NW	普通木毛セメント板								・ケイ酸カルシウム板（無石綿）			NM-2773
	GB-R	石膏ボード			GB-F		強化石膏ボード			IB	インシュレーションボード			HF	硬質木片セメント板								・化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0			NM-4227

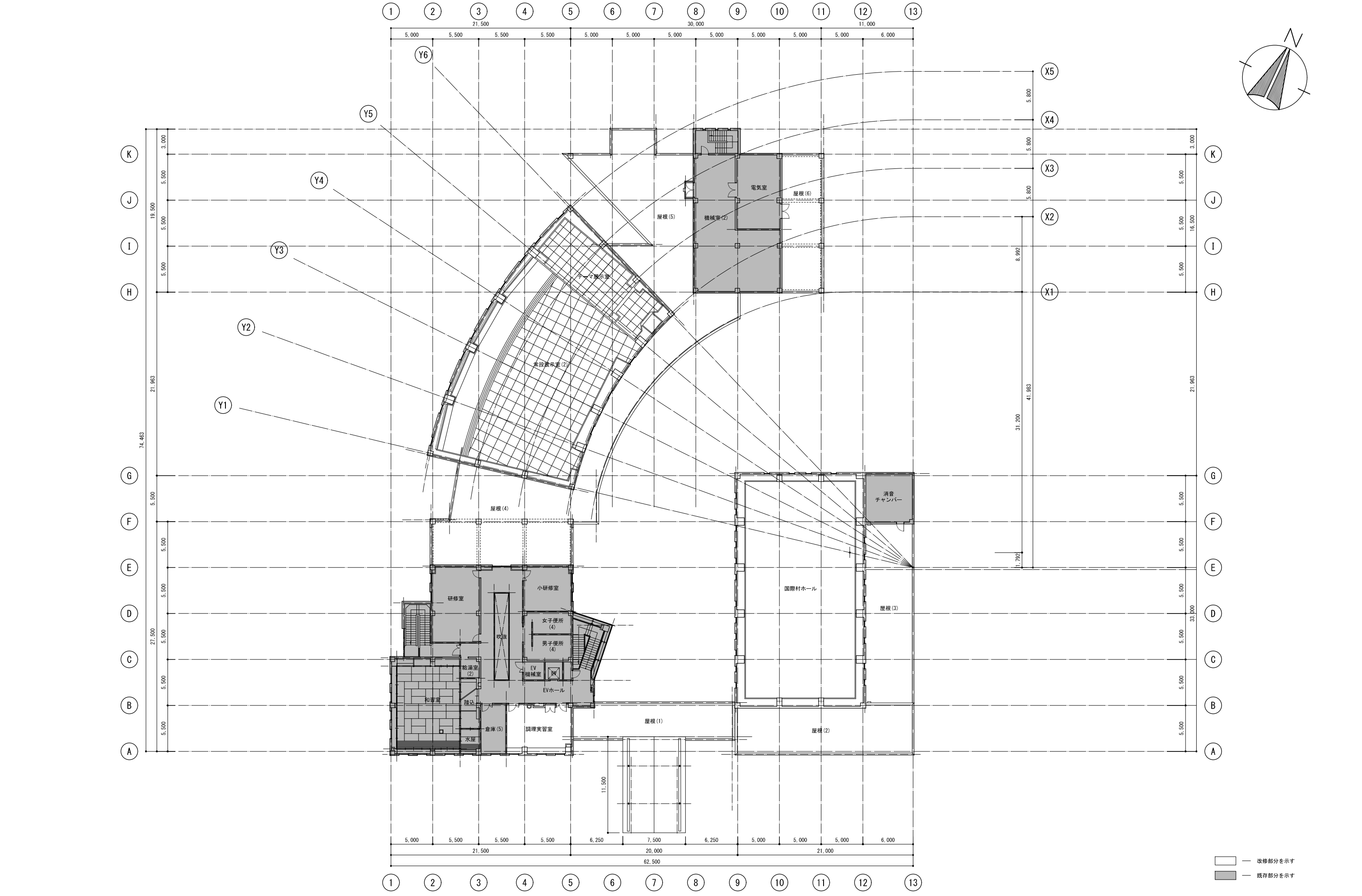
備 品 リ ス ト																											
階	位 置 室 名	名 称	寸法 (mm)				数量	単位	処置方法				備 考	階	位 置 室 名	名 称	寸法 (mm)				数量	単位	処置方法				備 考
			W (L)	D (t)	H (t)				既存	移設	仮置	処分					W (L)	D (t)	H (t)				既存	移設	仮置	処分	
1階	常設展示室 (1)	シンボル地球儀	1,080φ		1,950		1	台		○			エントランスホールに移設	1階	テーマ展示室	グラフィックパネル	364		257		2	枚				○	
		グラフィック木パネル	1,200	45	2,480		5	枚				○				グラフィックアクリルパネル	300	5	600		1	枚				○	
																展示ケース	9,400+3,649	1,200	3,000		1	台				○	
	常設展示室 (2)	グラフィック木パネル	450	75	2,550		1	台				○				什器	1,800	900	1,000		2	台				○	
		〃	450	75	2,100		1	台				○				〃	900	900	300		10	台				○	
		グラフィックスチールパネル	300	5	910		5	台				○				小物ケース	600	450	200		9	台				○	
		グラフィックアクリルパネル	300	5	900		4	枚				○															
		〃	300	5	600		1	枚				○			プレイゾーン	ヒップバー	1,200	120φ	510		1	台				○	
		〃	600	200	5		3	枚				○				マスクスタンド	200	200	1,500		1	台				○	
		〃	600	300	5		7	枚				○				〃	200	200	1,200		2	台				○	
		〃	200	200	5		12	枚				○				C D-R O Mハウジング	900	848.5	1,000		1	台				○	
		〃	300	300	5		22	枚				○															
		〃	1,410	7	300		1	枚				○		ミュージアムコロネード	受付カウンター	2,000 1,500	800 550	1,000		1	台				○		
		グラフィックパネル	3,000	60	3,000		2	台				○			レジカウンター	480	550	1,000		1	台				○		
		トゥカノ族住居	12,000	5,500	5,000		1	式				○			パソコンカウンター	600	800	1,000		1	台				○		
		環境復元 樹木	—	—	—		1	式				○			吊りボーダー	2,385+1,765	120	200		1	台				○		
		固定展示ケース	3,948	700	1,150		1	台				○															
		〃	5,272	700	1,150		1	台				○			2階	調理実習室	調理実習台	2,100	900	800		3	台				○
		〃	5,171	700	1,150		1	台				○				物入	1,290	420	2,100		1	台				○	
		〃	4,108	700	1,150		1	台				○				ガス炊飯台	2,000	600	2,630		1	台				○	
		独立展示ケース	2,700	1,000	2,500		6	台				○				食器収納棚	1,550	600	2,630		1	台				○	
		住居ジオラマケース	1,800	1,800	1,100		1	台				○															
		展示映像モニターハウジング	700	900	900		1	台				○															
							</																				



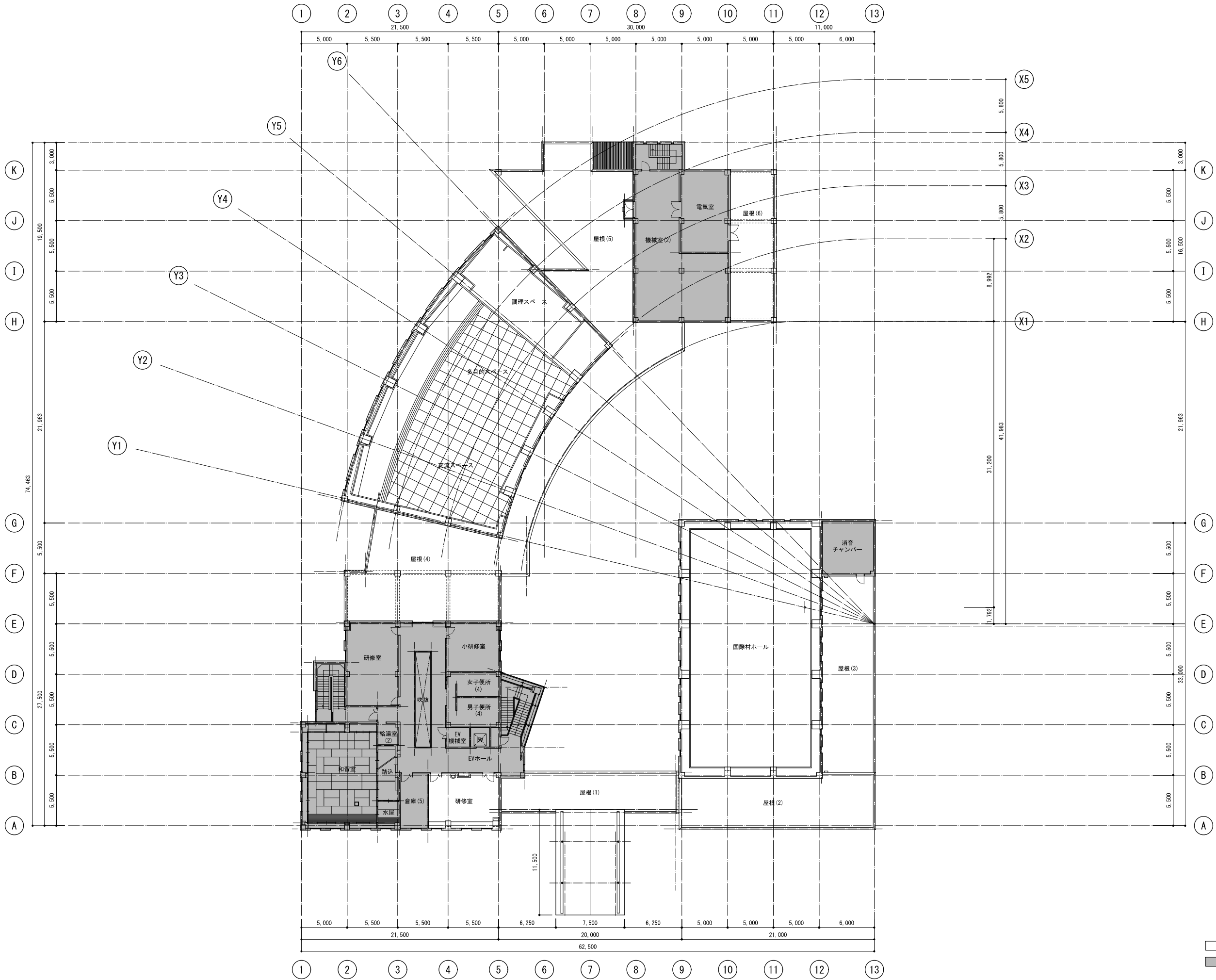
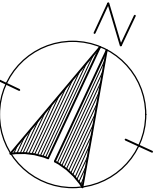
キャド・カム株式会社 一級建築士事務所 山形県鶴岡市大室寺字日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-4078 E-mail cao@cad-cam.co.jp 〒997-0017 代表設計者 加藤 美秋 担当設計者	製図	検図	令和7年 1月31日	担当	主査	課長	訂正	特記	工事名	図面名	図番	
			鶴岡市建築課							出羽庄内国際村改修工事（内部改修）	1階平面図（改修前）	A-014
			設計承認							作図	2025・01・31	縮尺 A1:1/200 A3:1/400

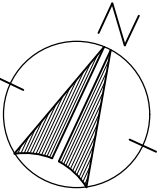


□ — 改修部分を示す
■ — 既存部分を示す

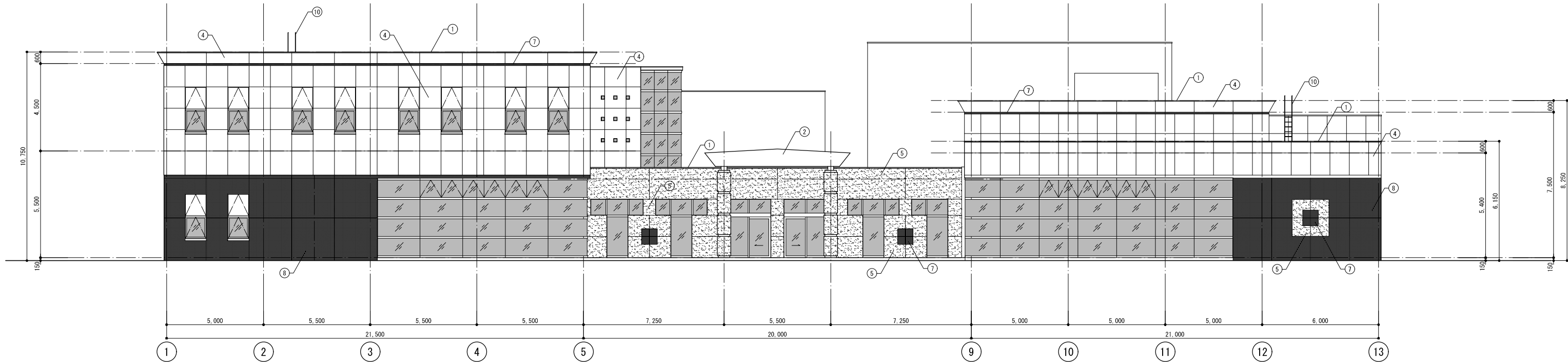


 キャド・カム株式会社 一級建築士事務所 cadcam 一級建築士事務所 山形県知事登録(1305)第1800号	〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-4078 E-mail cao@cad-cam.co.jp	代表 設計者	一級建築士 第328648号 加藤 美秋	製 図	検 図	令和7年 1月31日	担 当	主 査	課 長	訂 正	特 記	工 事 名	図 面 名	図 番							
		担 当 設計者				鶴岡市建築課 設計承認													出羽庄内国際村改修工事 (内部改修)	2 階平面図 (改修前)	A-016
作 図 2025・01・31												縮 尺 A1:1/200 A3:1/400	区 分								

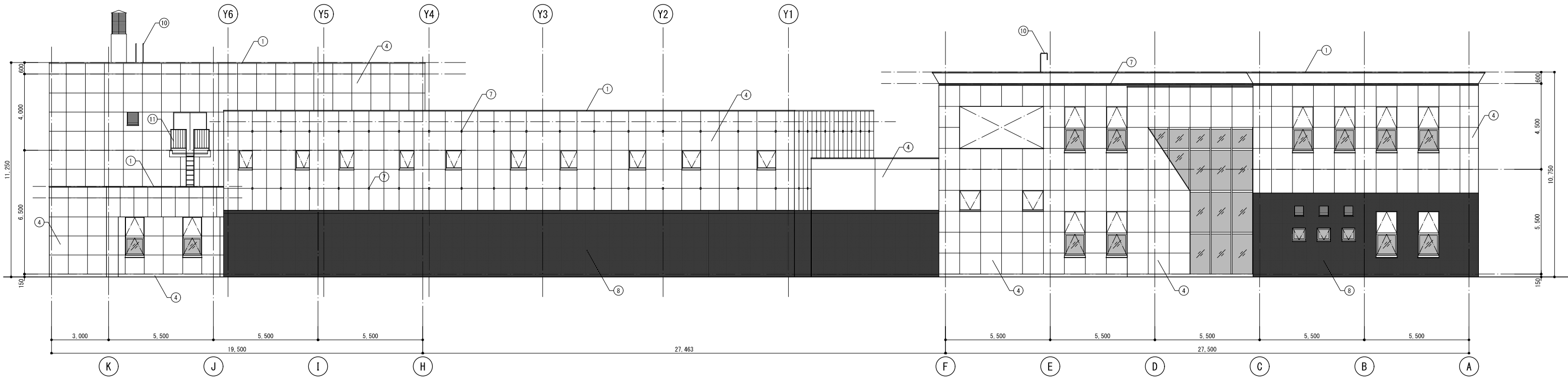




屋根防水全面改修	
改修前	非歩行用塩化ビニール系シート防水 t2.0 立上り共
改修後	平面部：シート防水部分補修 ウレタンフォーム t25 非歩行用塩化ビニール系シート防水 t2.0 （塩ビシート防水断熱機械的固定工法） 立上り：高粘性ウレタン塗膜防水 （田島ル・フイグ® 株式会社 コンポジットシステムVT同等品）



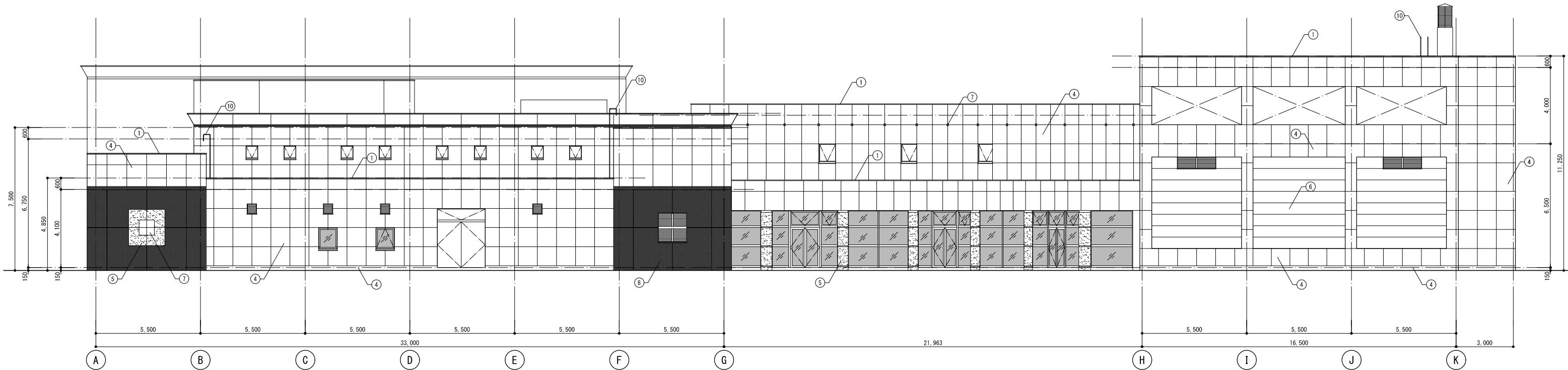
南側立面図



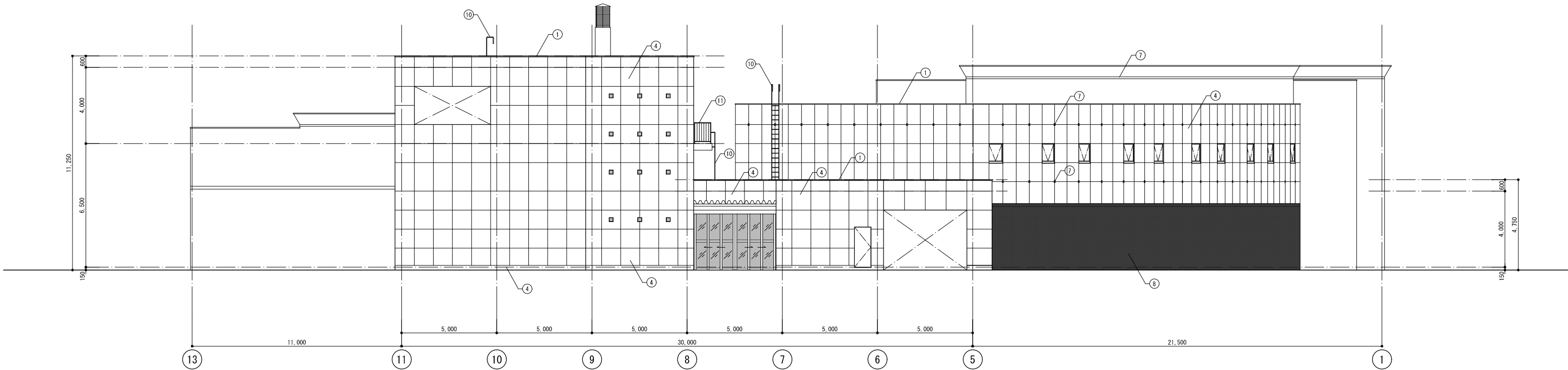
西側立面図

仕 上 表			仕 上 表			仕 上 表			外壁面全面改修		
①	笠 木	アルミ押出型材（既製品）	⑤	外 壁	特殊型枠コンクリート打放シ補修下地 ウォールコートストーン吹付	⑨	ルーバー	アルミ製（既製品）	③ ④ ⑥	高圧洗浄 + シリコン塗	
②	庇	フッ素樹脂塗装アルミ板 t2.0 折曲加工（発泡ウレタン t10 裏打）	⑥	〃	押出成型セメント板 t60 下地 タイルペイント吹付	⑩	タラップ	ステンレス製（既製品）	⑤	高圧洗浄 + セラミックシリコン塗	
③	化粧ボーダー	コンクリート打放シ補修下地 タイルペイント吹付	⑦	〃	50角磁器質タイル貼り	⑪	手 摺	アルミ製（既製品）	⑦ ⑧	洗浄 + セラミック浸透性吸水防止材塗（弱溶剤型）	
④	外 壁	コンクリート打放シ補修下地 タイルペイント吹付（化粧目地切）	⑧	〃	50角磁器質タイル貼り				※ 劣化、膨れ及びクラック等補修 ※ 外壁改修内訳面積にはカーテンウォール以外の開口部面積が含まれている		

	キヤド・キャム株式会社 一級建築士事務所 〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-4078 E-mail cao@cad-cam.co.jp	代 表 設計者 加 藤 美 秋 担 当 設計者	製 図 検 図	令和7年1月31日	担 当	主 査	課 長	訂 正	特 記	工 事 名 出羽庄内国際村改修工事（内部改修）	図 面 名 立 面 図（1）	図 番 A-019
一級建築士事務所 山形県知事登録（1305）第1800号				鶴岡市建築課 設 計 承 認						作 図 2025・01・31	縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	区 分

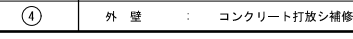


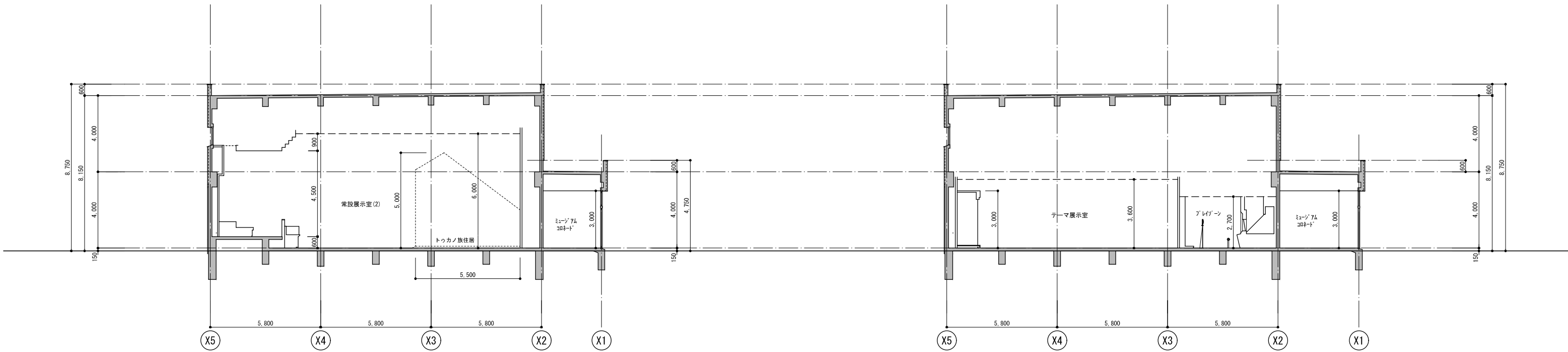
東側立面図



北側立面図

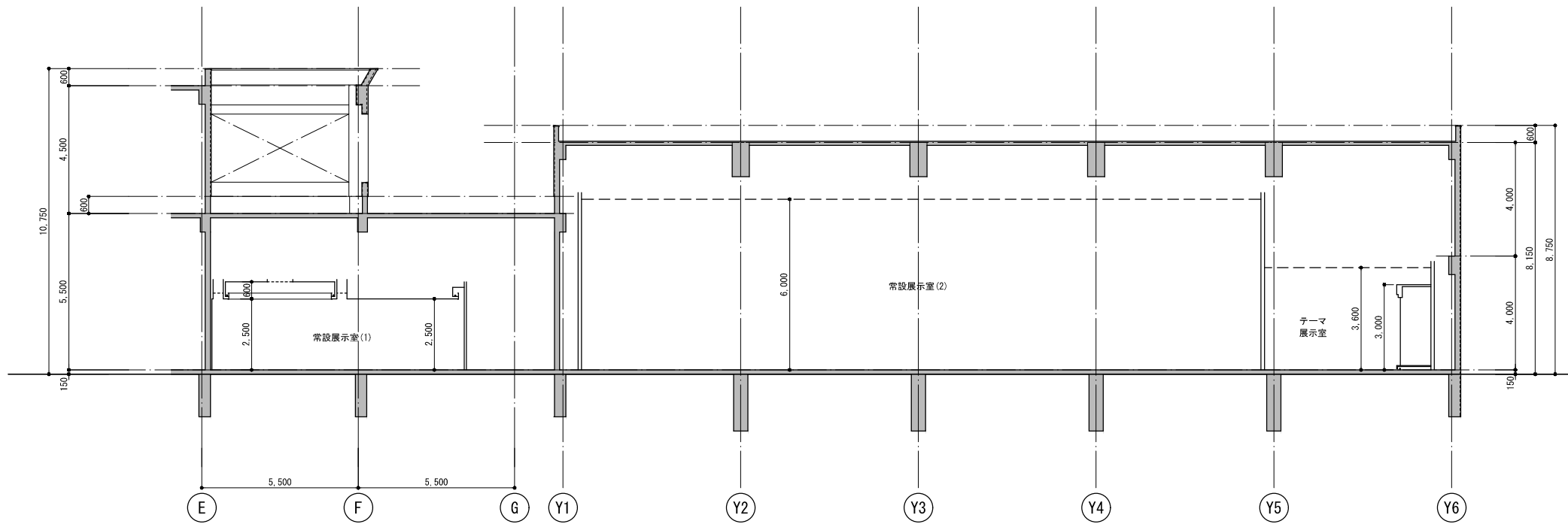
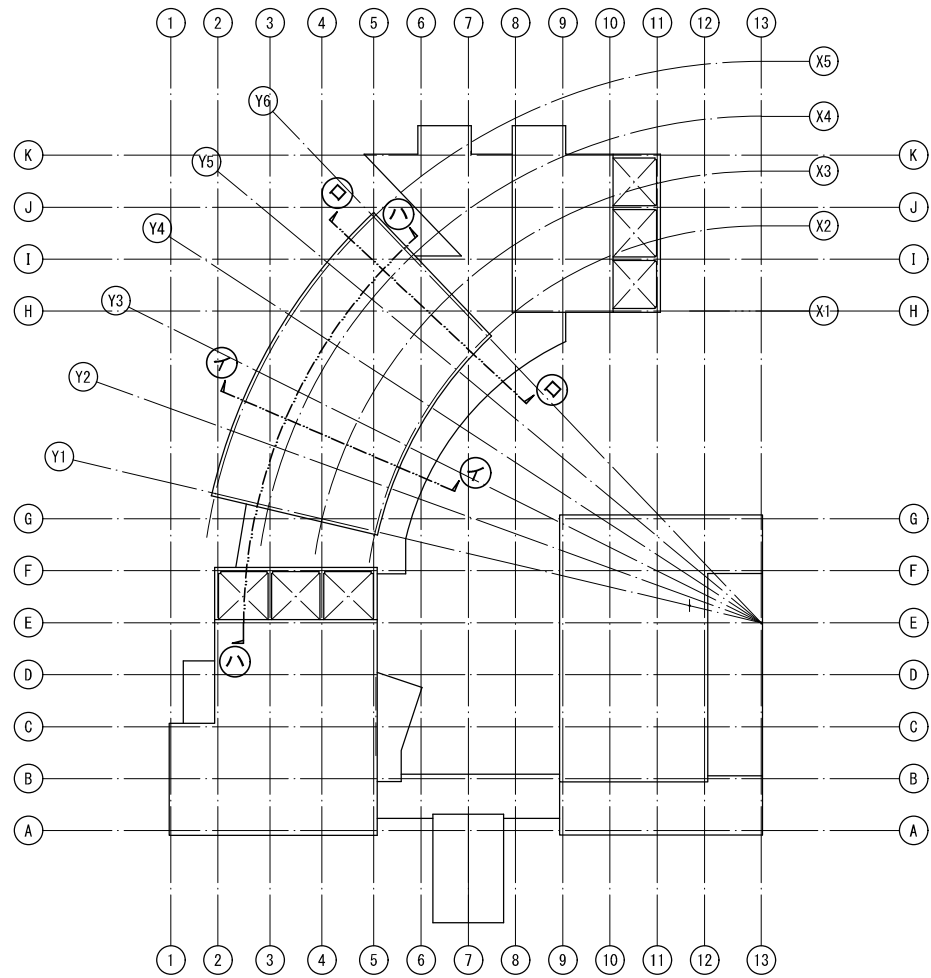
仕 上 表				仕 上 表				仕 上 表				外壁面全面改修			
①	笠 木	:	アルミ押出型材 (既製品)	⑤	外 壁	:	特殊型枠コンクリート打放シ補修下地 ウォールコートストーン吹付	⑨	ルーバー	:	アルミ製 (既製品)	③ ④ ⑥	高圧洗浄 + シリコン塗		
②	庇	:	フッ素樹脂塗装アルミ板 t2.0 折曲加工 (発泡ウレタン t10 裏打)	⑥	〃	:	押出成型セメント板 t60 下地 タイルペイント吹付	⑩	タラップ	:	ステンレス製 (既製品)	⑤	高圧洗浄 + セラミックシリコン塗		
③	化粧ボーダー	:	コンクリート打放シ補修下地 タイルペイント吹付	⑦	〃	:	50角磁器質タイル貼り	⑪	手 摺	:	アルミ製 (既製品)	⑦ ⑧	洗浄 + セラミック浸透性吸水防止材塗 (弱溶剤型)		
④	外 壁	:	コンクリート打放シ補修下地 タイルペイント吹付 (化粧目地切)	⑧	〃	:	50角磁器質タイル貼り					※ 劣化、膨れ及びクラック等補修 ※ 外壁改修内訳面積にはカーテンウォール以外の開口部面積が含まれている			

 キャド・カム株式会社 一級建築士事務所 山形県鶴岡市大宝寺字日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-4078 E-mail cao@cad-cam.co.jp 一級建築士事務所 山形県知事登録 (1305) 第1800号	代 表 設計者 加 藤 美 秋 一級建築士 第328648号	製 図 検 図 令和7年1月31日 鶴岡市建築課 設計承認	担 当	主 査	課 長	訂 正 _____ _____ _____	特 記	工 事 名 出羽庄内国際村改修工事 (内部改修)	図 面 名 立 面 図 (2)	図 番 A-020
	担 当 設計者							作 図 2025・01・31	縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	区 分

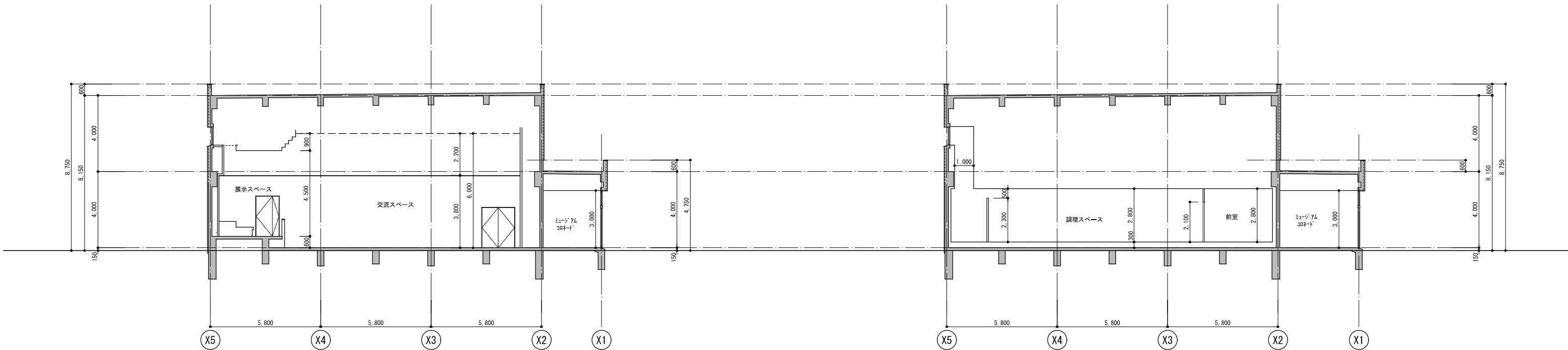


㊦ - ㊦ 断面図

㊧ - ㊧ 断面図

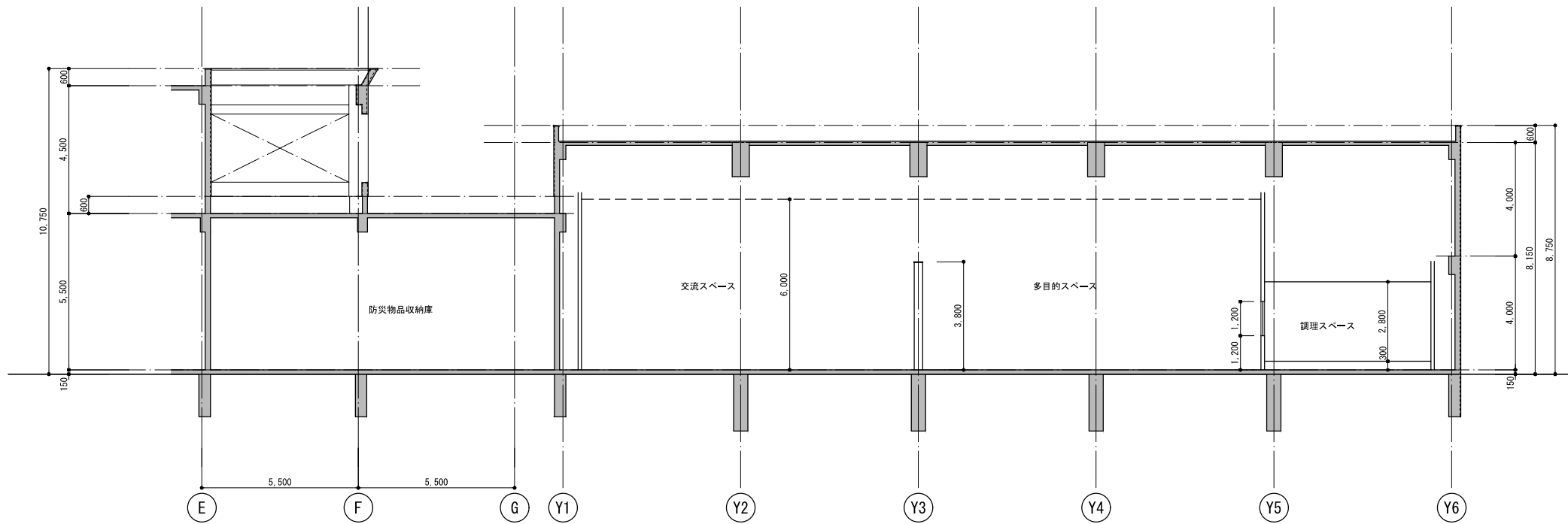
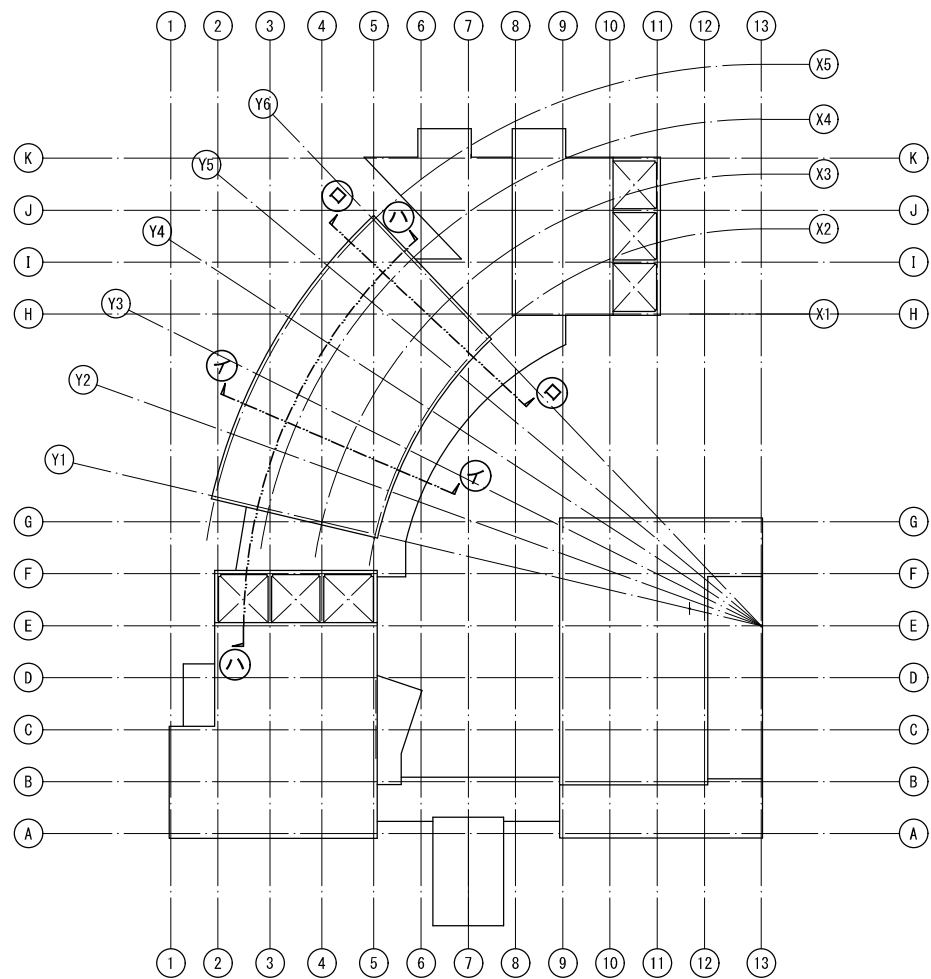


㊨ - ㊨ 断面図



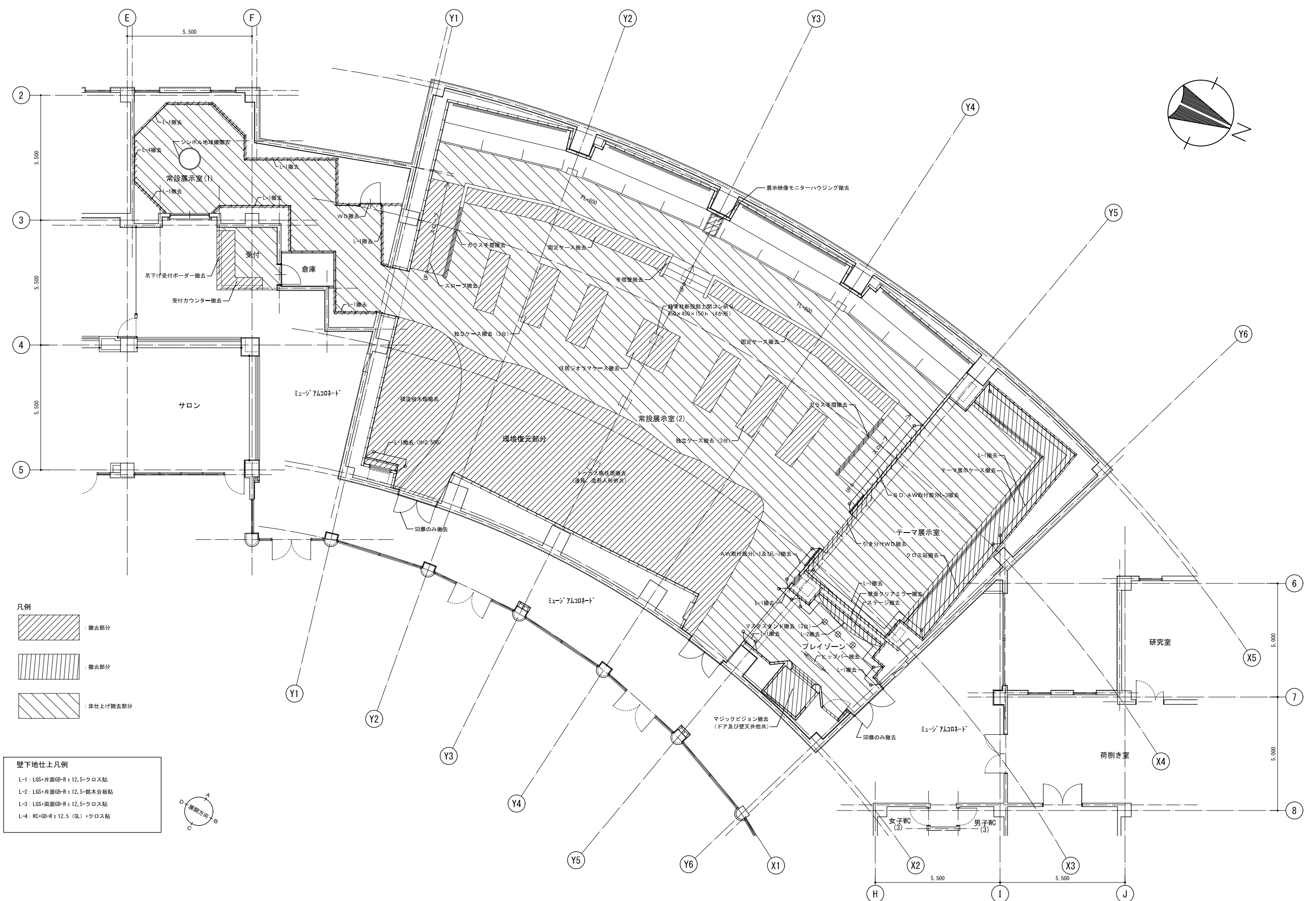
㊦-㊦ 断面図

㊧-㊧ 断面図



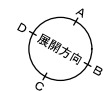
㊨-㊨ 断面図

 キャド・カム株式会社 一級建築士事務所 cadcam 一級建築士事務所 山形県知事登録(1305)第1800号 〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-4078 E-mail cao@cad-cam.co.jp	代表 設計者	一級建築士 第328648号	加藤 美秋	製 図	検 図	令和7年1月31日	担 当	主 査	課 長	訂 正	特 記	工 事 名	図 面 名	図 番
	担 当 設計者	鶴岡市建築課 設計承認								出羽庄内国際村改修工事（内部改修）		断面図（改修後）	A-022	
作 図											2025・01・31	縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	区 分

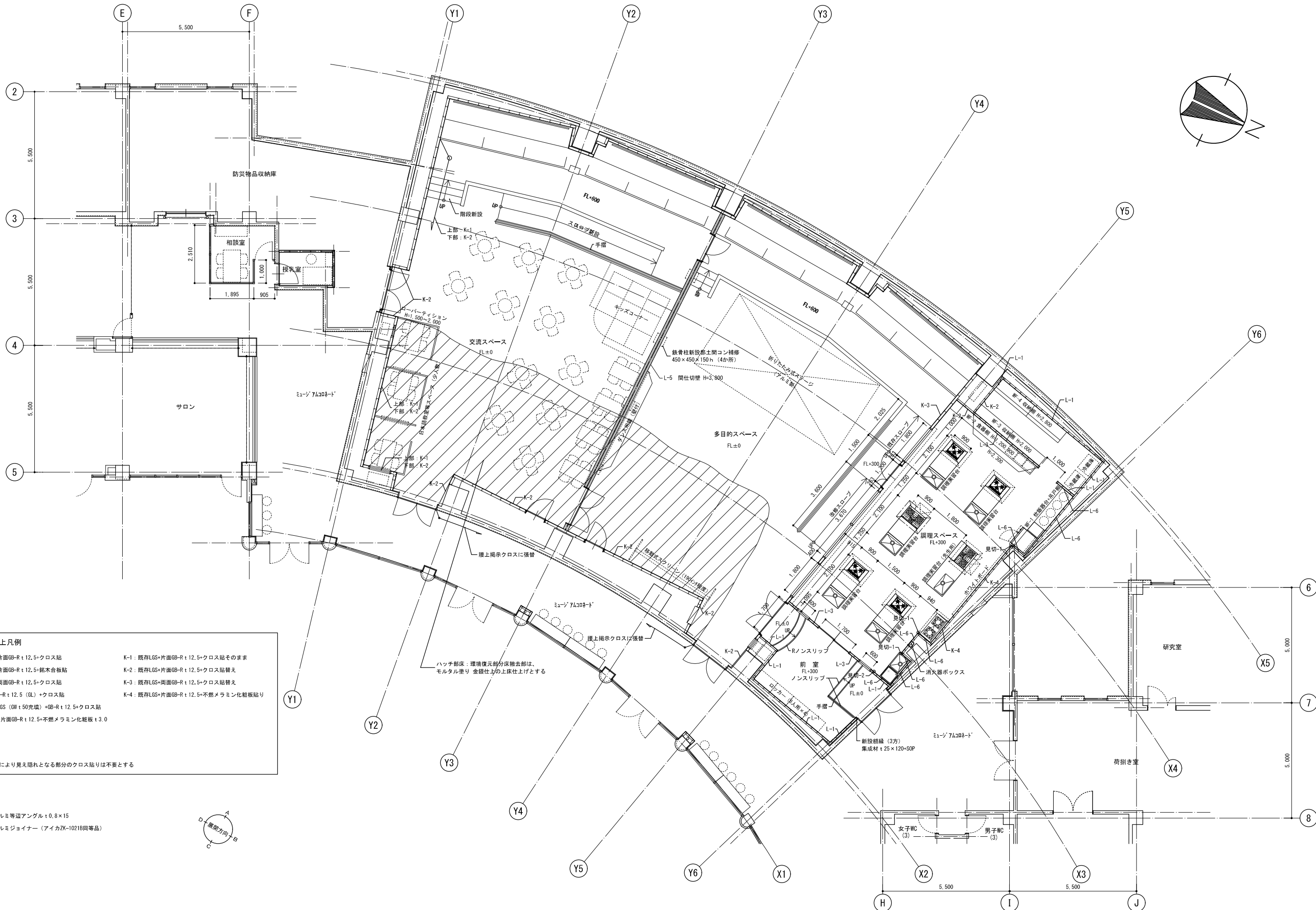


- 凡例
- : 撤去部分
 - : 撤去部分
 - : 床仕上げ撤去部分

- 壁下地仕上凡例
- L-1 : LGS+片面GB-R t 12.5+クロス貼
 - L-2 : LGS+片面GB-R t 12.5+銘木合板貼
 - L-3 : LGS+両面GB-R t 12.5+クロス貼
 - L-4 : RC+GB-R t 12.5 (GL)+クロス貼



キャド・カム株式会社 一級建築士事務所 山形県鶴岡市大宮寺日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-4078 E-mail cao@cad-cam.co.jp	代表 設計者 加藤 美秋 第328648号	製図 検図	令和7年1月31日 鶴岡市建築課 設計承認	担当 主査 課長	訂正	特記	工事名 出羽庄内国際村改修工事（内部改修）	図面名 1階常設展示室（1）・（2） テーマ展示室（改修前）	図番 A-023
							作図 2025・01・31	縮尺 A1:1/75 A3:1/150	区分



壁下地仕上凡例

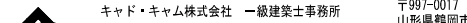
L-1: LGS+片面GB-R t 12.5+クロス貼	K-1: 既存LGS+片面GB-R t 12.5+クロス貼そのまま
L-2: LGS+片面GB-R t 12.5+銘木合板貼	K-2: 既存LGS+片面GB-R t 12.5+クロス貼替え
L-3: LGS+両面GB-R t 12.5+クロス貼	K-3: 既存LGS+両面GB-R t 12.5+クロス貼替え
L-4: RC+GB-R t 12.5 (GL) +クロス貼	K-4: 既存LGS+片面GB-R t 12.5+不燃メラミン化粧板貼り
L-5: 両面LGS (GW t 50充填) +GB-R t 12.5+クロス貼	
L-6: LGS+片面GB-R t 12.5+不燃メラミン化粧板 t 3.0	
L-7:	

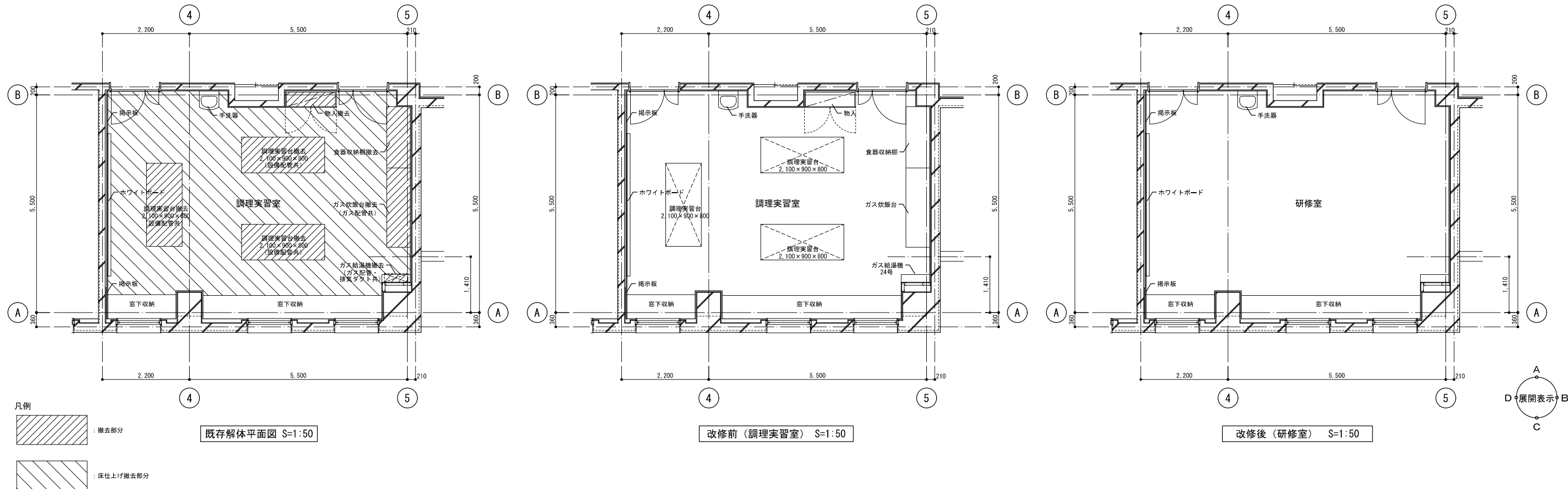
特記事項
造作家具により見え隠れとなる部分のクロス貼りは不要とする

凡例

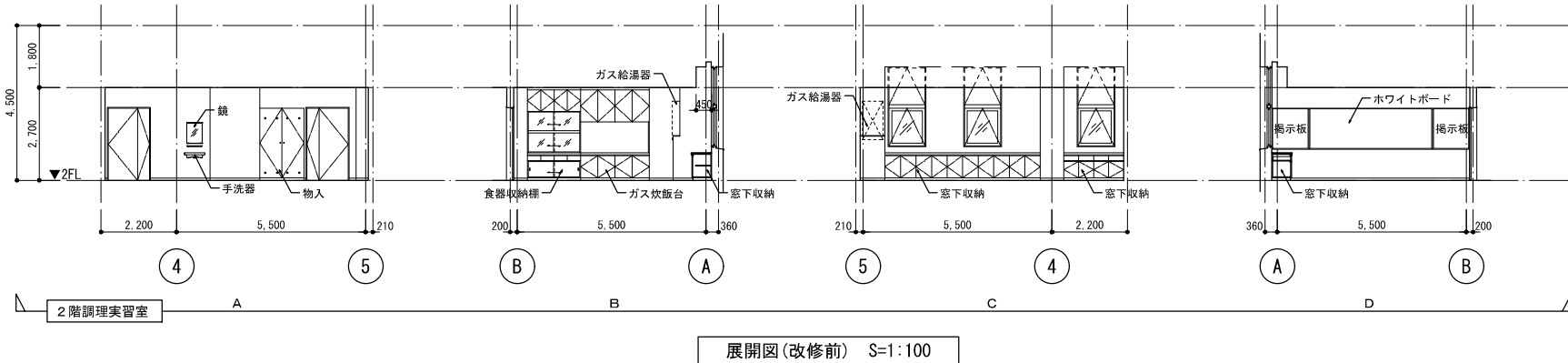
見切-1: アルミ等辺アングル t 0.8×15

見切-2: アルミジョイナー (アイカZK-1021B同等品)

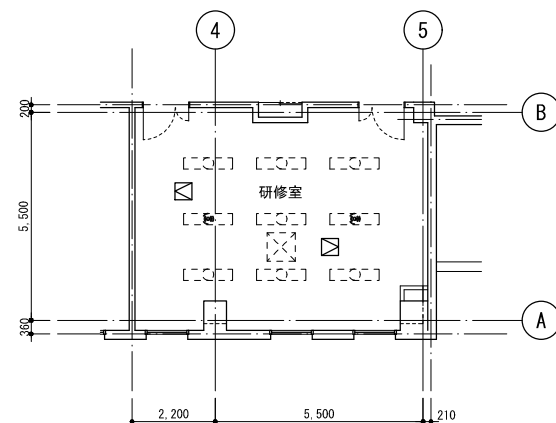
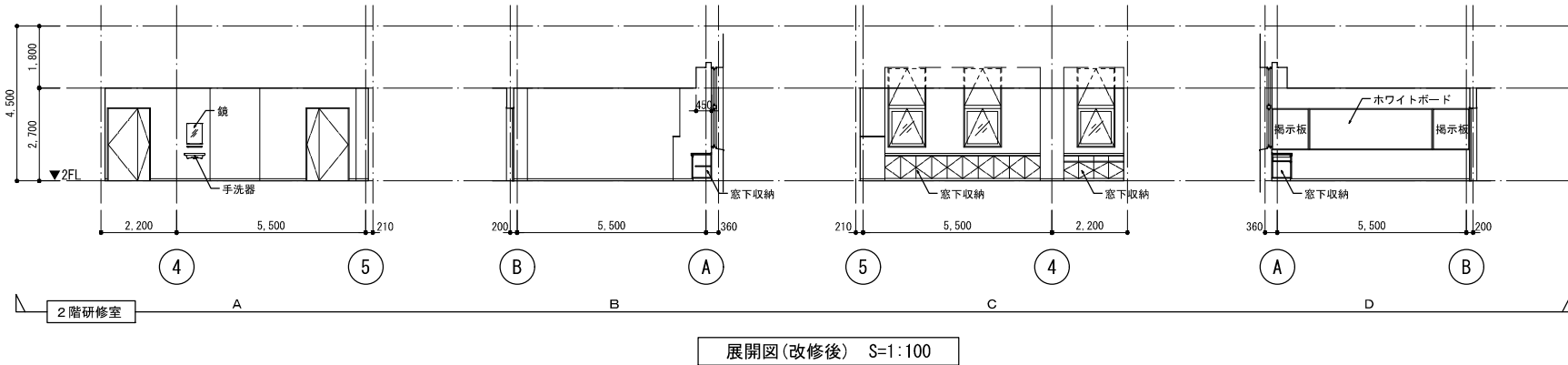
 キャド・カム株式会社 一級建築士事務所 山形県鶴岡市大宮寺字日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-4078 E-mail cao@cad-cam.co.jp	〒997-0017 山形県鶴岡市大宮寺字日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-4078 E-mail cao@cad-cam.co.jp	代 表 設計者 一級建築士 加 藤 美 秋 第328648号	製 図 検 図 鶴岡市建築課 設計承認	令和7年 1月31日	担 当	主 査	課 長	訂 正 _____ _____ _____	特 記 _____ _____ _____	工 事 名 出羽庄内国際村改修工事 (内部改修)	図 面 名 1階常設展示室 (1)・(2) テーマ展示室 (改修後)	図 番 A-024
		担 当 設計者										
		作 図 2025・01・31										



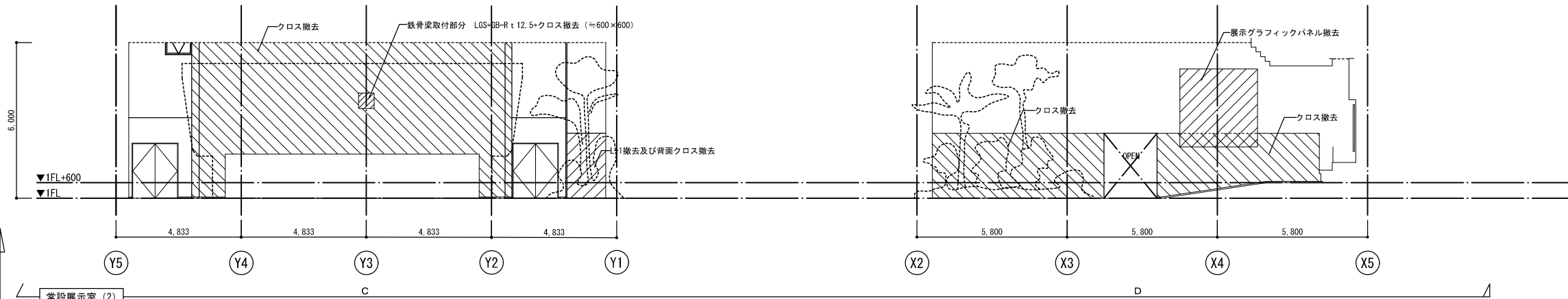
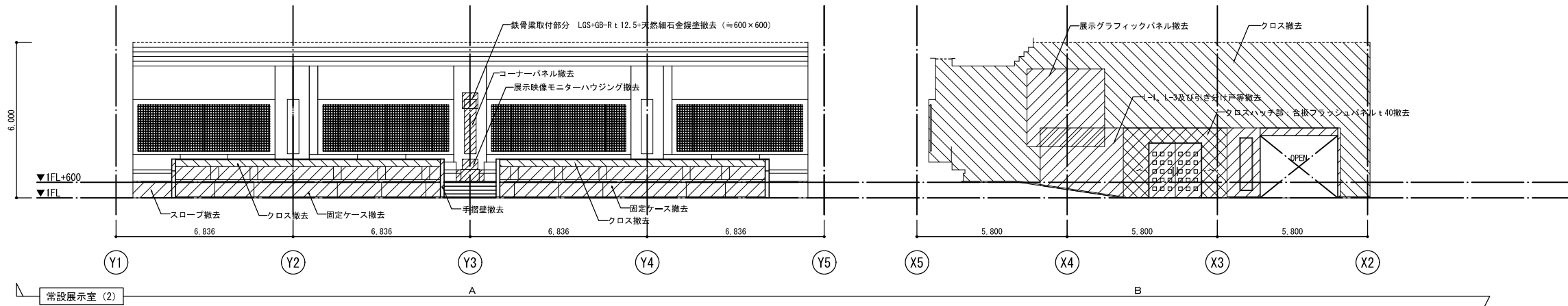
仕上表 (改修前)	
床	長尺塩ビシート貼 t2.5
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	PB t12.5下地 ビニルクロス貼
天井	PB t9.5捨張 岩綿吸音板 t12



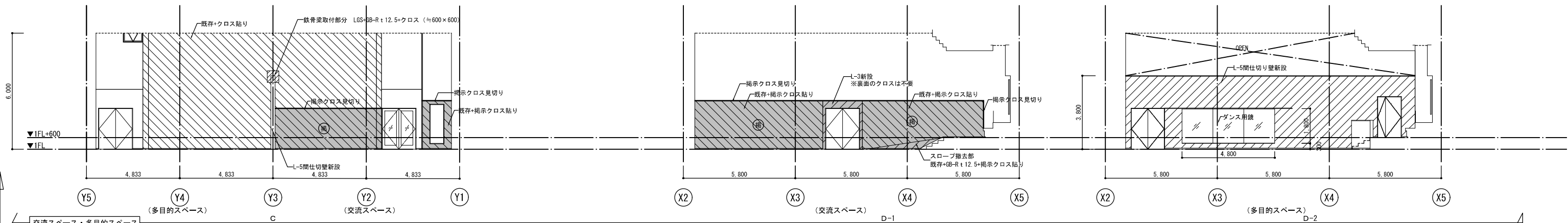
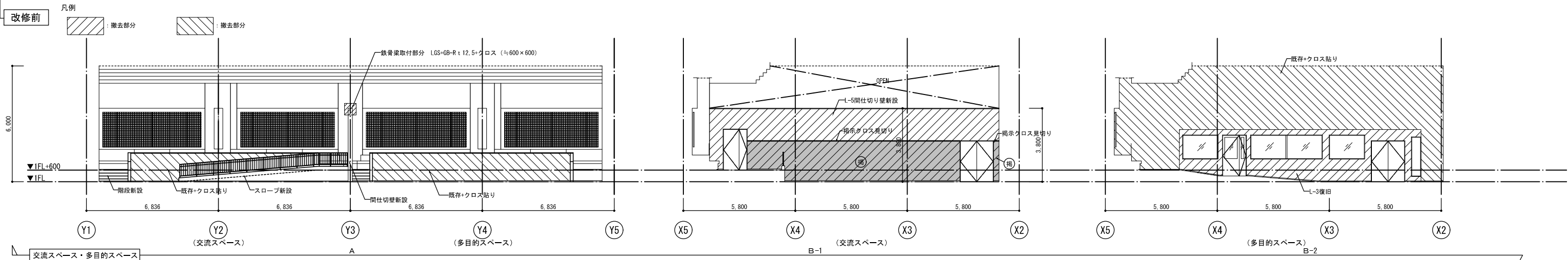
仕上表 (改修後)	
床	タイルカーペット敷 t6.8 (貼替)
巾木	ソフト巾木 H=60 (貼替)
壁	PB t12.5下地 ビニルクロス貼 (貼替)
天井	PB t9.5捨張 岩綿吸音板 t12 (貼替下地共)



凡 例	
天井仕上	PB t9.5捨張 岩綿吸音板 t12 (貼替下地LS共)
□	天井点検口 450×450
□	照明機器開口 350×1,300
□	空調機器開口 ***×***

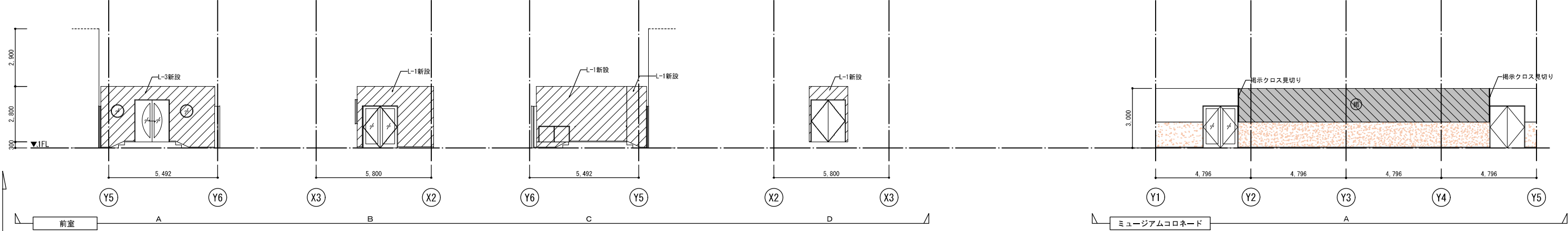
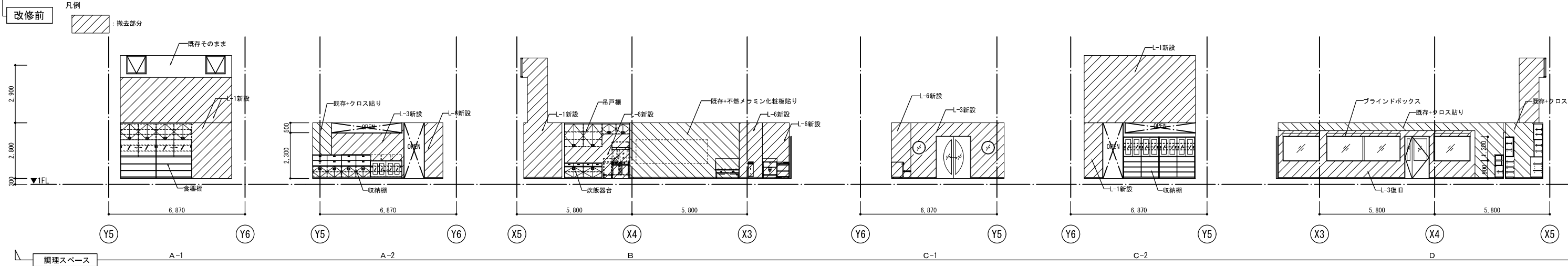
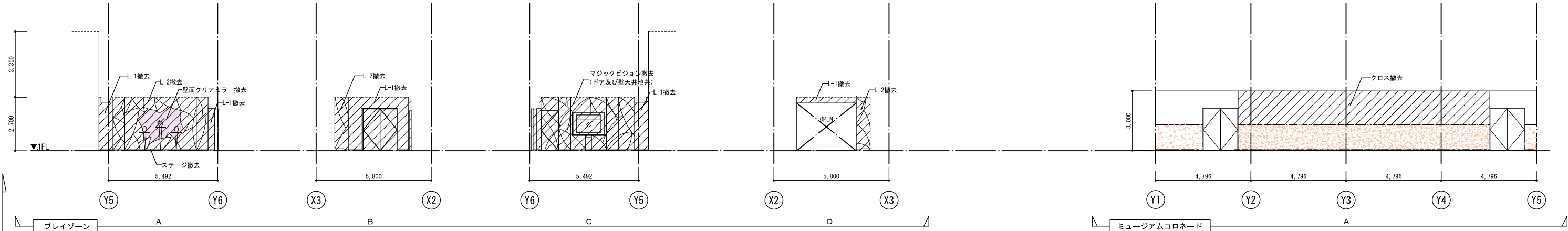
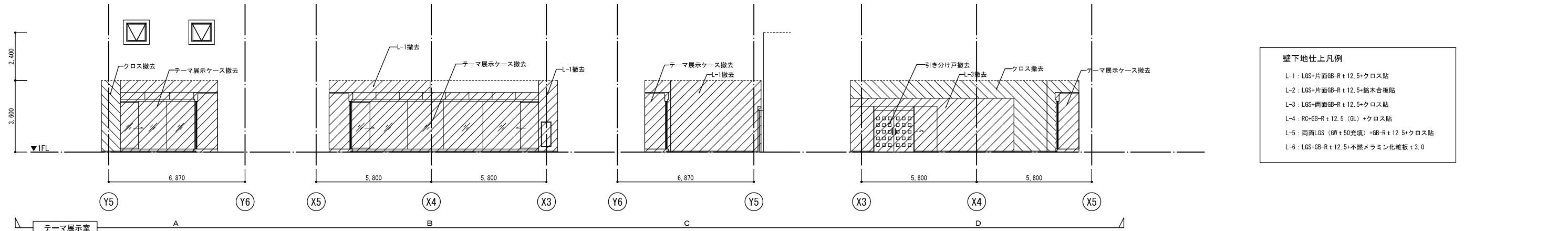


- 壁下地仕上凡例
- L-1 : LGS+片面GB-R t 12.5+クロス貼
 - L-2 : LGS+片面GB-R t 12.5+銘木合板貼
 - L-3 : LGS+両面GB-R t 12.5+クロス貼
 - L-4 : RC+GB-R t 12.5 (GL) +クロス貼
 - L-5 : 両面LGS (GW t 50充填) +GB-R t 12.5+クロス貼
 - L-6 : LGS+GB-R t 12.5+不燃メラミン化粧板 t 3.0



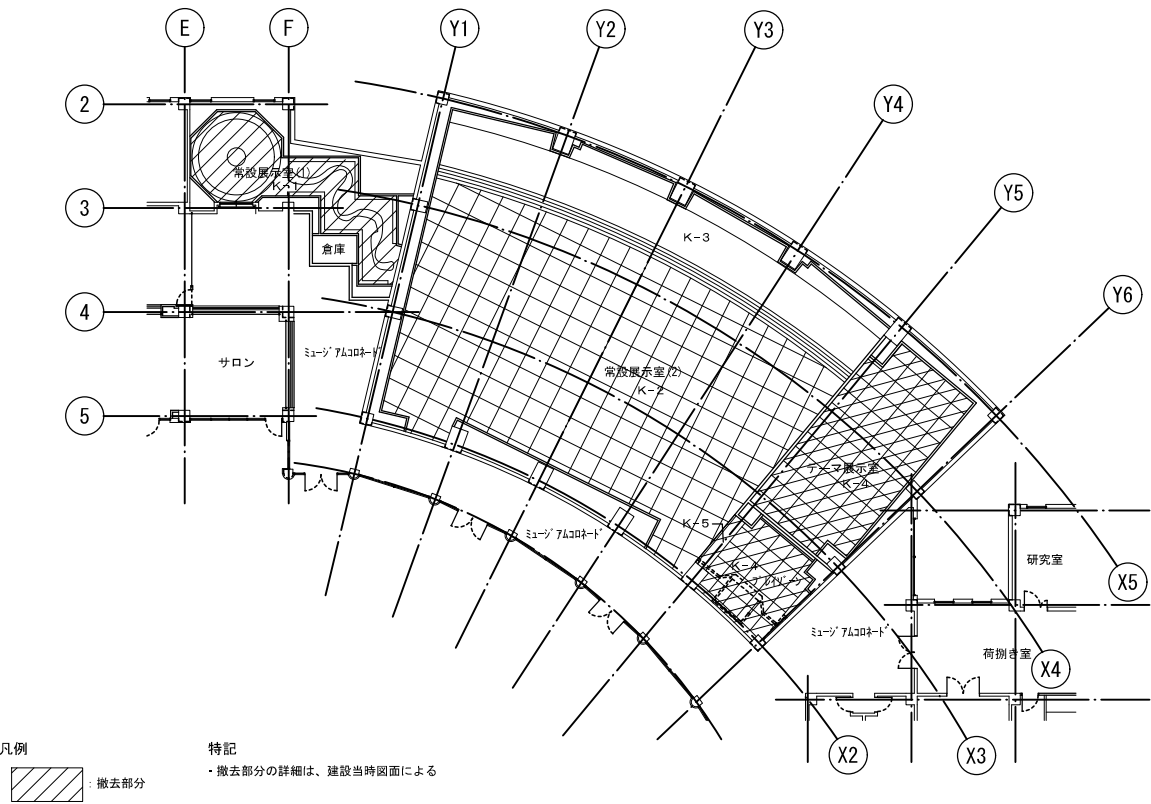
- 改修後 凡例
- 改修新設部分
 - 改修新設部分
 - 揭示クロス部分

 キヤド・キャム株式会社 一級建築士事務所 一級建築士事務所 山形県知事登録 (1305) 第1800号	〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国378番12 TEL 0235-25-1211 FAX 0235-22-4078 E-mail cao@cad-cam.co.jp	代表 設計者 一級建築士 加藤 美秋 第328648号 担当 設計者	製図 検図 令和7年1月31日 鶴岡市建築課 設計承認	担当 主査 課長 訂正	特記	工事名 出羽庄内国際村改修工事 (内部改修)	図面名 1階常設展示室 (2) 展開図 (改修前・改修後)	図番 A-026
						作図 2025・01・31	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	区分



1階常設展示室廻り 天井伏図

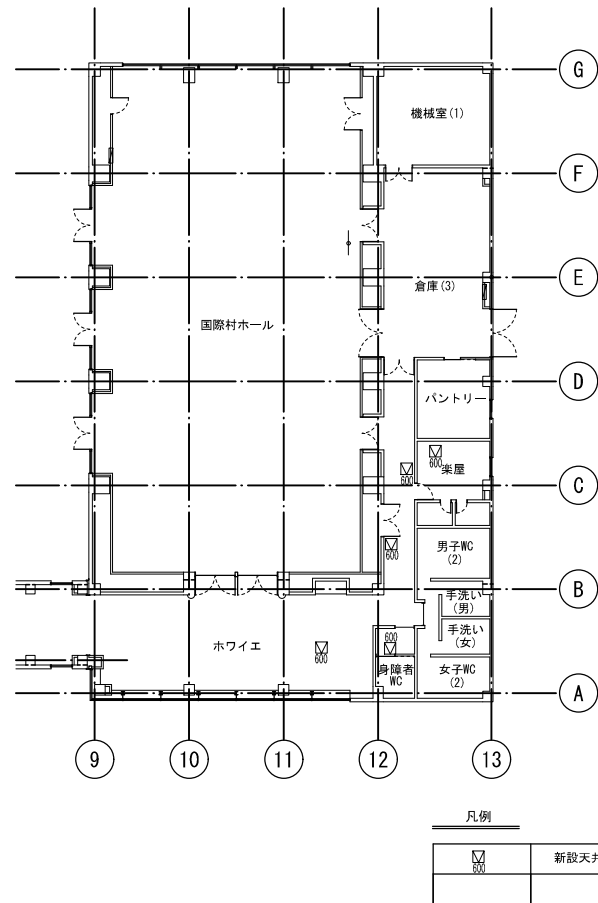
既存撤去図



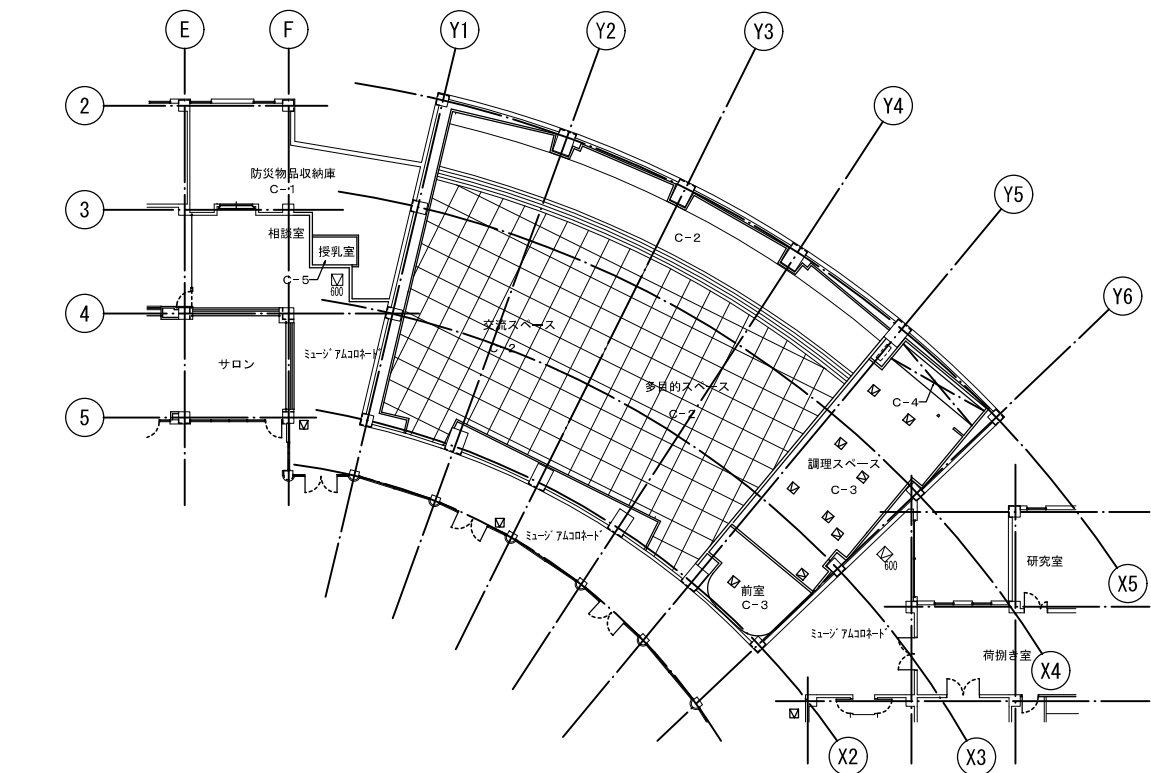
天井仕上げリスト

記号	天井仕上
K-1	GB-R t 12.5+AEP又はクロス、パンチング及びスチールパネル
K-2	メッシュシステム天井1200×1200
K-3	GB-R t 12.5+AEP
K-4	メッシュシステム天井1000×1000
K-5	GB-R t 12.5+クロス
-	-
-	-
-	-

1階国際村ホール廻り 天井伏図（天井点検口 新設図）



改修図



天井仕上げリスト

記号	天井仕上
C-1	既存スラブアラウシ
C-2	既存のまま
C-3	GB-R t 9.5+DR t 9
C-4	GB-DR t 9.5
C-5	既存+クロス
-	-
-	-
-	-

凡例

■	新設天井点検口：450×450
■	新設天井点検口：600×600

